

2022

発行日 毎月1日 通算発行 433号

5



協会報



今月のトピックス

馳 浩知事を表敬訪問

人事異動に伴う着任ご挨拶

高校生向け建設業への入職PRパンフレットの寄贈

最近の完成工事から

金沢港 夜間景観創出（ライトアップ）事業

－金沢港の夜に新しい魅力を創出－

石川県金沢港湾事務所



《石川の工芸シリーズ④》

石川県七尾美術館蔵（池田コレクション）

ぞうがんまじごろう
象嵌雉香炉

たがはし かいしやう

高橋 介州【明治38(1905)年－平成16(2004)年】

制作年／昭和時代後期(20世紀) サイズ／幅35.8×奥行10.5×高さ15.0cm 技法／象嵌
高橋介州は金沢市出身の金工家。江戸時代以来の伝統技法「加賀象嵌」の技術伝承に尽力しつつ、石川県の工芸界で指導的役割を果たした。「加賀象嵌」を基本に端正かつ精緻、またシンプルながら洗練されたデザインにより独自の表現を追求。そのことは野々村仁清の代表作として名高い「色絵雉香炉」（石川県立美術館蔵、国宝）をアレンジした本作品の、スマートで涼やかな作風にも表れているといえよう。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2022

5



◀石川の工芸シリーズ④▶
象嵌雉香炉
高橋 介州(たかはし かいしゅう)

1 今月のトピックス	
馳 浩知事を表敬訪問	1
人事異動に伴う着任ご挨拶	2
高校生向け建設業への入職PRパンフレットの寄贈	3
2 最近の完成工事から	
金沢港 夜間景観創出(ライトアップ)事業 -金沢港の夜に新しい魅力を創出-	
石川県金沢港湾事務所	4
3 令和3年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.9	
小倉建設株式会社	6
令和3年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.10	
加賀建設株式会社	8
4 2021年度第4回 建設業景況調査(石川県版)	
東日本建設業保証(株) 石川支店	10
5 地区協会コーナー	
石川県輪島市「禅の里広場」 (一社)鳳輪建設業協会	11
6 今月の「輝き!」さん No.86	
株式会社金沢舗道 山岸海斗 ^{かいと} さん	12
7 協会だより	
石川の建設業の雇用と経営に関する調査報告書(2021 概要版)	13
委員会の開催	
土木委員会	
正副委員長会議の開催	28
土地改良委員会	
正副委員長・部会長会議の開催	28
広報・研修委員会	
企画部会の開催	29
建設技術研修所	
令和4年度ドローン講習会の開催	29
令和4年度新入社員研修の開催	30
新入社員向けIT講習会の開催	30
遠隔臨場講習会の開催	31
第44回測量コンテスト開催案内	31
8 業界時報	
労働災害発生状況	32
令和3年度 建設工事受注高調(元請)	32
9 県協会からのお知らせ	33
10 地区協会からのお知らせ	34

今月のトピックス

馳 浩知事を表敬訪問

4月25日(月)、平櫻 保会長、鶴山庄市副会長、中市勝也副会長、山岸 勇専務理事の4名は、馳 浩知事を表敬訪問した。

平櫻会長は、資材価格の高騰など建設産業が抱える課題をお伝えするとともに、公共事業予算の持続的・安定的な確保、地元建設企業の受注機会の確保などについてお願いした。

馳知事からは、「社会基盤の整備と維持管理をとおして地域の安全・安心を守る建設産業の役割は十分理解している。これまでの事業を継承し発展させることで、石川県の新時代の実現に努めたい。」と述べられた。その後、和やかに懇談が行われた。知事表敬に先立ち、徳田 博副知事を訪問した。



馳知事と懇談



徳田副知事と懇談

人事異動に伴う着任ご挨拶

本年4月8日付けで、石川県土木部長に就任された鈴見裕司氏、他土木部幹部が、4月8日(金)、石川県建設業協会を訪問され新任のご挨拶をいただいた。

県協会では、平櫻 保会長、鶴山庄市副会長、中市勝也副会長以下、役員が出迎えた。

鈴見土木部長は挨拶で、「建設業協会の皆様方としっかり連携しながら、石川県のインフラ整備に努めていきたい。働き方改革や担い手の確保・育成など建設業界が抱える課題にもしっかりと対応して参りたい。」と述べられた。その後、当面する諸課題を中心に和やかな懇談が行われた。

同日、農林水産部次長（農業土木担当）に就任された家元雅夫氏、他農林水産部幹部のご挨拶もいただいた。

4月21日(木)には、3月31日付けで石川労働局長に就任された長嶋政弘氏、他労働局幹部の方々、27日(水)には、4月1日付けで北陸地方整備局営繕部長に就任された野口 久氏、他営繕部幹部のご挨拶もいただいた。

(石川県土木部)

- ・土木部長 鈴見 裕司 氏
- ・技監（土木担当） 口田 光也 氏
- ・土木部次長（土木、まちづくり技術センター担当） 本田 琢 氏

(石川県農林水産部)

- ・農林水産部次長（農業土木担当） 家元 雅夫 氏
- ・農林水産部農業政策課技術管理室長 橋本 尚之 氏
- ・農林水産部農業基盤課長 池田 俊文 氏
- ・農林水産部農業基盤課担当課長（事業監理担当） 高橋 威光 氏

(石川労働局)

- ・石川労働局長 長嶋 政弘 氏
- ・石川労働局労働基準部長 岡村 宏行 氏
- ・石川労働局労働基準部監督課長 小谷 一彦 氏
- ・石川労働局労働基準部健康安全課長 宮野 廣之 氏

(北陸地方整備局営繕部)

- ・北陸地方整備局営繕部長 野口 久 氏
- ・北陸地方整備局営繕部営繕調査官 峯村 高志 氏
- ・北陸地方整備局金沢営繕事務所長 村山 強 氏
- ・北陸地方整備局金沢営繕事務所技術課長 矢嶋 恒人 氏



土木部幹部の皆様



石川労働局幹部の皆様



農林水産部幹部の皆様



北陸地方整備局営繕部幹部の皆様

高校生向け建設業への入職PRパンフレットの寄贈

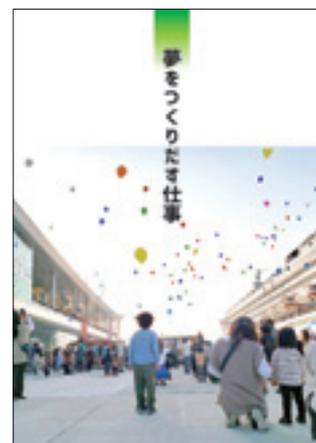
実施日時 令和4年4月7日(木) 14:00~14:30
 場所 石川県庁教育長室
 出席者 北野喜樹教育長、平櫻 保会長、
 山岸 勇専務理事

概要

平櫻会長、山岸専務理事が県庁に北野教育長を訪ね、当協会女性部会『百万石小町「結」』が中心となり、石川県と協力して作成した高校生向け建設業への入職PRパンフレット「夢をつくりだす仕事」を寄贈した。

平櫻会長が「業界では、給与がいい・休暇がとれる・希望が持てる「新3K」の建設業を目指しており、女性も安心して働ける環境になってきている。実業系の高校だけでなく、普通科高校においても生徒の進路選択に役立てていただければ幸いです。」と挨拶。北野教育長からは「建設業の魅力を進路指導の先生方に伝えていくことが大切。参考資料として活用させていただきたい。」とお礼の言葉をいただいた。

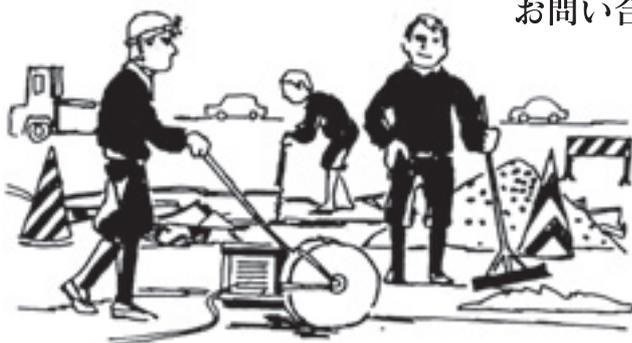
パンフレットは、県教育委員会を通じて、県内すべての高校に配布される。協会では、高校生との意見交換会や企業ガイダンス等のイベント開催時に活用していくこととしている。



不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合
 損害保険ジャパン株式会社
 損保ジャパンパートナーズ株式会社
 TEL 076-231-7787
 FAX 076-231-7766
 〒920-0919 金沢市南町5-20
 中屋三井ビル2F

最近の完成工事から

金沢港 夜間景観創出（ライトアップ）事業 —金沢港の夜に新しい魅力を創出—

石川県金沢港湾事務所

1 はじめに

金沢港は、昭和38年のいわゆる38豪雪を契機に掘込港湾として整備が進められ、近年では世界的な建設機械メーカーのコマツの立地や北陸新幹線開業も相まって貨物やクルーズ船の寄港が急増し、金沢港を取り巻く環境が大きく変貌している。

こうした変化に対応するため、開港50周年の節目に合わせ、クルーズターミナルの整備をはじめとした機能強化整備を進め、2020年春に完成した。岸壁は従来の水深7.5mから10mに増深され10万トン級の大型クルーズ船も係留できるようになった。

一方、夜の金沢港は、これまで保安や荷役作業に必要な最小限の照明しかなかったことから、クレーンや船舶等の港特有の施設や、かなざわみなとおおほし金沢港大橋などをライトアップし、昼間のクルーズターミナルを核とした賑わいに加え、夜の新しい魅力を創出することとした。



写真-1 金沢港クルーズターミナル

2 事業概要

・事業箇所 金沢市無量寺町～五郎島町 地内

- ①金沢港クルーズターミナル
- ②無量寺ふ頭
- ③上屋・サイロ
- ④ガントリークレーン
- ⑤金沢港大橋
- ⑥五郎島ふ頭・護岸
- ⑦係留船舶
- ⑧水産ふ頭

・事業期間 平成30年度～令和3年度

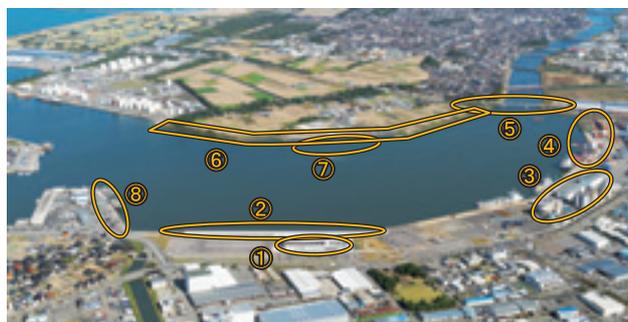


写真-2 航空写真（事業箇所）

3 ライトアップの特徴

金沢港のライトアップには3つの特徴がある。

1点目として、掘込港湾という特徴を活かし、対岸の五郎島から金沢港大橋にかけて水際にライトを連続的に配置し、海面に映り込む光の帯による幻想的な空間を創出する。

また、ガントリークレーンや係留船舶、上屋・サイロ、水産ふ頭の「いきいき魚市」などのライトアップを行い、港内を包み込むように「加賀五彩」（古代紫、えんじ臙脂、藍、草、黄土）の5色を5分ごとに切り替え、石川らしさを演出する。

2点目として、ターミナル前の無量寺ふ頭において、音楽とともに「風に揺らめく水面」など、加賀五彩の色ごとに動きのある模様をそれぞれ演出している。

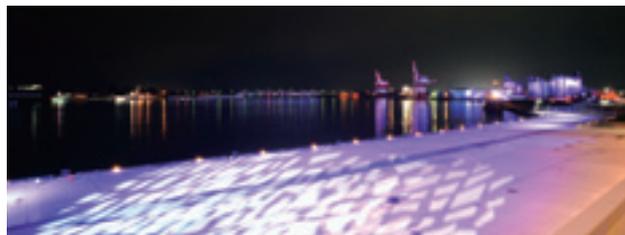


写真-3 ライトアップの状況

3点目として、核となるクルーズターミナルは、夜のランドマークとなるよう、建物の特徴である屋根の波の形を強調するほか、ガラス張りの建物を内部から照らすことにより際立たせている。

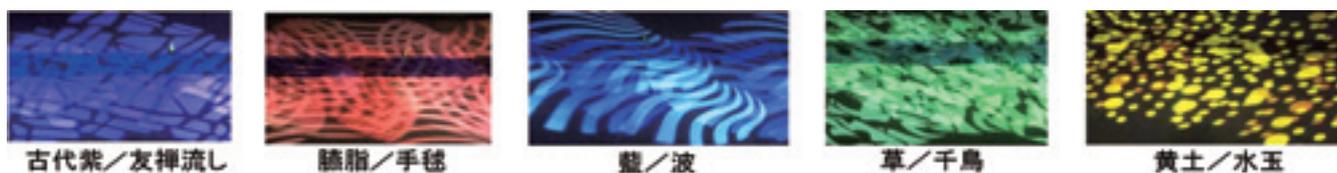


写真-4 動きのある模様を演出



写真-5 金沢港クルーズターミナル

4 施設の効果・特性

ライトアップによるおもてなしや多くのイベントを開催するなど、多彩な工夫を凝らし、大人から子供まで、これまで港が遠い存在であった方々にも足を運んでいただいている。

県内港湾でのライトアップは初めての試みであったため、計画するにあたり、照らす対象を何にするのかから始まり、専門家の意見を伺いながら、灯具の種類や位置、明るさなど一つ一つ試験しながら確認し、石川らしい演出になるよう努めた。

また、船舶航行の安全性を検証するため、漁船やプレジャーボートに実際に乗り込み、利用者目線で影響の無いことを確認、さらに地元の生産組合や町会などの関係者にも説明するなど、しっかり意見を伺いながら事業を進めた。



写真-6 展望デッキから夜景を楽しむ一般見学者



写真-7 夜のイベント風景

5 おわりに

工事期間中、時には風雪の中、照明灯具一灯一灯の微調整を深夜まで行うこともあった。こういった積み重ねがあってこそ、おもてなしができると感じている。

家族連れの県民の皆様をはじめ、多くの方々に美しい夜の景観を楽しんで頂いており、地域活性化につながっている。

開港50周年という大きな節目を迎えた金沢港が、「貨物」、「クルーズ」だけでなく、今後も多くの人が集い、楽しめる「賑わい」の拠点としてさらに発展していくことを期待している。最後に本事業に多大なご尽力を賜りました関係各位に感謝申し上げます。

令和3年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.9

施工企業名：小倉建設株式会社

■工事名 主要地方道金沢田鶴浜線地方道改築工事（改良12工区）

■工事分野 道路改良工事

■施工場所 羽咋市寺家町 地内

■工事概要

施工延長 L=269m
盛土工 V=17,360㎡
排水工 L=628m

■工期 令和2年4月13日～令和2年11月30日

■推薦理由

当該工事は、のと里山海道4車線化事業の改良工事であり、発注者指定による情報化（ICT）施工により盛土工事を実施したものである。

盛土の施工にあたっては、事前にコーン貫入試験を実施し、軟弱層の厚さや土質分布から盛土構築による基礎地盤の安定性を確認したほか、沈下板や変位観測杭を設置し、盛土周辺地盤の動態観測を行いながら施工するなど、盛土の品質確保に努めた。

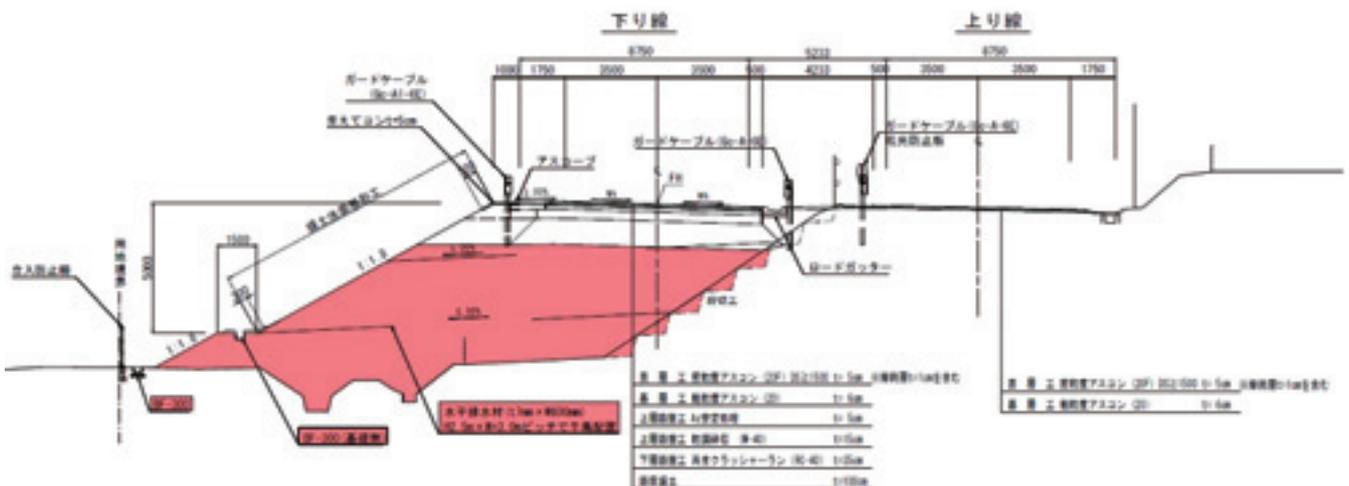
また、現場周辺では、工事用車両と農耕車が輻輳することが想定されたことから、事前に地元町会と十分に協議を行うなど適切な安全対策を実施し、事故もなく工事を完了させた。



起点側から終点側を撮影



終点側から起点側を撮影



標準横断面図



簡易動的コーン貫入試験



沈下板の設置



地元町会受発注者による事前協議



MCバックホウによる法面整形

■現場代理人のコメント



現場代理人
定免芳訓氏

この度、優良建設工事知事表彰を頂きまして、誠にありがとうございました。発注者の中能登土木総合事務所の皆様、地元町会の皆様には工事期間中において、大変お世話になりました。心より厚く御礼を申し上げます。

当工事は、のと里山海道の4車線化事業における柳田IC～上棚矢駄IC間の寺家高架橋より延長L=269m区間を盛土作業を主体とした道路改良工事でした。

工事着手前に、地元町会と現地で打合せ協議を行い、工事車両の往来で不都合となる農道の迂回計画や交通災害回避に努める誘導員配置の増員計画を行いました。また、周辺水田の用水確保も課題となり水路計画も検討しました。

工事に着手すると、土砂搬入する道路はなく、工事用道路を計画造成する事が工事全体の重要ポイントとなると考え、一早く着手し、土砂受入体制を整えました。

盛土作業は周辺地盤の動態観測と沈下板の測定状況を確認しながら、品質管理に努め、他工区の搬出作業計画に順応した工程管理に努めることができました。

排水・用水に関する問題は積極的に地元町会を交えてコミュニケーションを図り、トラブルなく無事に施工することができました。

最後に、無事故・無災害で竣工を迎えられた事を大変に喜ばしく思い、今後この賞を頂いたことを励みに地域社会の為、日々努力を忘れず頑張りたいと思います。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

令和3年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.10

施工企業名：加賀建設株式会社

■工事名 金沢港改修(防波堤(北))工事 (その1)

■工事分野 港湾漁港工事

■施工場所 金沢市大野町4丁目 地先 外

■工事概要

ケーソン製作 N = 1 函 (L15.0m×B7.5m×H7.5m)

ケーソン仮置 N = 1 函

フローティングドック回航 N = 1 式

■工 期 令和2年4月28日～令和2年9月30日

■推薦理由

本工事は金沢港改修（防波堤(北)）事業の一環で、防波堤本体のケーソンを製作する工事である。

使用する鉄筋の防錆のため、搬入前にNETIS製品の防錆材を塗布したほか、遮光ネットと散水により鋼製型枠の温度上昇抑制を行う等、出来型・品質ともに良好な工事であった。

また、本工事はコンテナ埠頭用地内での作業となることから、荷役業者との連絡調整を積極的に実施し、調整事項の早期把握に努め、事故なく工事を完了させるとともに、コンテナヤードから工事現場内への進入路をわかりやすく明示するため矢印表示版を設置する等、安全対策を向上させた。

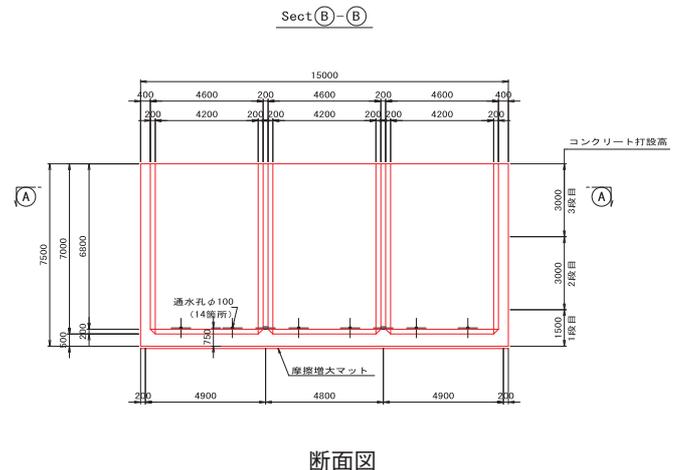
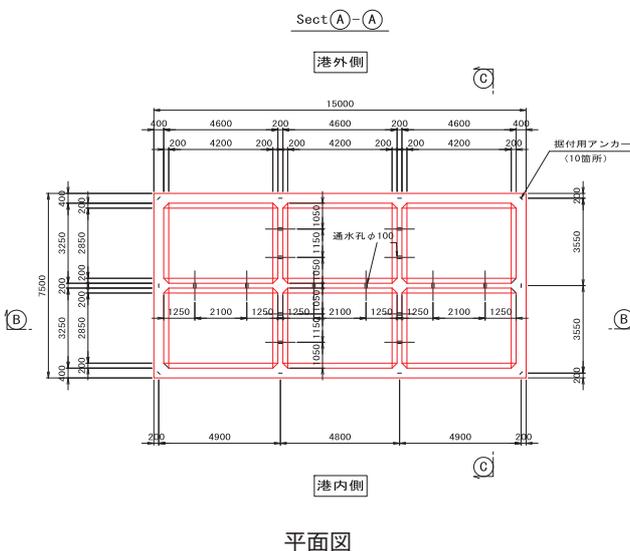
他にも、大学生の体験学習の受け入れを行い、公共工事のPRに努めた。

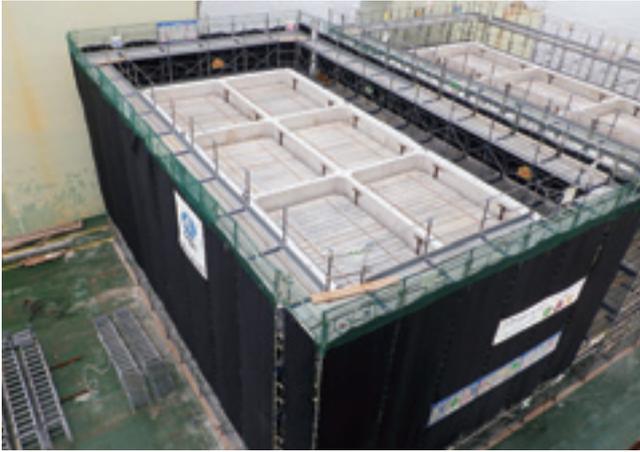


ケーソン製作全景

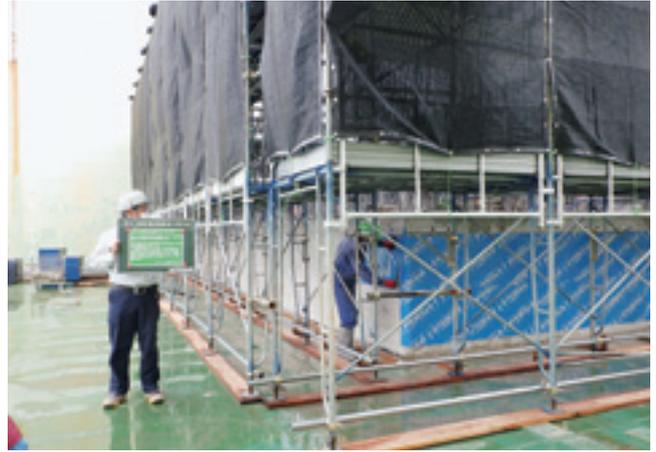


ケーソン港外側から撮影（写真下が当社施工）





外部足場に遮光ネットを設置



鉛直面に湿潤養生シート貼り付け状況



搬入前に防錆剤を塗布した鉄筋



ケーソン製作鉄筋組立状況

■現場代理人のコメント



現場代理人
木下芳彦氏

この度は、国土と交通等に関する知事表彰という大変名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。発注者の金沢港湾事務所監督員をはじめ、工事に関係するすべての皆様に感謝申し上げます。

本工事の特性として、フローティングドック上での作業であり①海上施工による塩害発生、②構造物築造時に、直射日光を遮る物が無い③施工ヤード周辺は金沢港のコンテナ埠頭用地内で荷役機械、車両が頻繁に往来する環境の3点が挙げられました。左記対応策として、①鉄筋加工場で、防錆剤塗布した鉄筋の使用で塩害を防止、②初期養生期間中の潮風による乾燥収縮防止の為、水中養生と同等の高品質化を可能とした湿潤養生シートの貼り付け、③荷役業者と定期的に連絡調整をした等で、高品質の構造物の築造かつ、無事故無災害で竣工したことが今回の受賞に至ったのだと考えております。

今後も、このような賞を受賞できるよう、日々自己研鑽に努めて参りたいと考えています。本当にありがとうございました。

2021年度第4回 建設業景況調査（石川県版）

東日本建設業保証(株) 石川支店

＜概要＞

○資材の価格は、「上昇」傾向がやや強まっている。

来期は、「上昇」傾向が続く見通し。

○地元建設業界の景気は、「悪い」傾向がやや弱まっている。

来期は、「悪い」傾向がやや強まる見通し。

○官公庁工事は、「減少」傾向が続いている。

来期は、「減少」傾向が強まる見通し。

【今期：前期（2021年10～12月）に比べた今期（2022年1～3月）の状況】

【来期：今期（2022年1～3月）に比べた来期（2022年4～6月）の状況】

項 目	前期	今期		来期		
		B.S.I.値	推移方向 (前期比)	B.S.I.値	推移方向 (今期比)	B.S.I.値
(1)業況等	地元建設業界の景気※	▲10.0	↔	▲7.5	↘	▲12.0
(2)受注	受注総額※	▲14.0	↔	▲12.5	↘	▲17.5
	官公庁工事※	▲12.5	↔	▲10.5	↘	▲18.0
	民間工事※	▲15.0	↔	▲14.0	↔	▲14.0
(3)資材	資材の調達※	▲16.0	↔	▲15.0	↘	▲16.5
	資材の価格	32.5	↔	35.5	↘	34.0
(4)労務	建設労働者の確保※	▲16.0	↘	▲18.0	↔	▲16.0
	建設労働者の賃金	14.5	↘	13.0	↔	17.5
(5)収益	※	▲4.5	↘	▲6.5	↘	▲12.0

(注)・B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。
 ・B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降の傾向を示す。
 ・表中の※印は、季節調整項目を示す。

【B.S.I.の見方】

B.S.I.(ビジネス・サーベイ・インデックス=景況判断指数)は、「良い」「悪い」など意識調査の回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。以下の計算式により数値化して求められます。

$$\frac{(\text{「良い」}と回答した企業割合 - \text{「悪い」}と回答した企業割合)}{2} \times 1/2$$

※「変わらず」は除いて計算

お問い合わせ先

東日本建設業保証(株) 石川支店 TEL: 076-242-1231

地区協会コーナー

石川県輪島市「禅の里広場」

(一社)鳳輪建設業協会

大本山總持寺が1321年（元亨元年）に開創されてから700年となった令和3年に、總持寺とともに発展してきた總持寺通り商店街の賑わい創出と、交流拡大のため、「禅の里広場」を新設。

広場には、大型バス4台と普通車20台が駐車可能なスペースと、總持寺通りの散策を楽しんでいただくための木造平屋建て観光案内所や、多機能トイレも設置した。また、市道走出駅前線の整備も併せて実施し、大型車が同時に進入できるなど、市道整備により大型バスの乗り入れがスムーズになった。

開創700年を経た總持寺の祖院である大本山總持寺祖院や日本遺産北前船の歴史が色濃く残る黒島地区をはじめ、禅の里・門前の魅力を発信する拠点施設として活用していく。



市道走出駅前線の新設

施設概要

- 施設住所／石川県輪島市門前町走出6-30
- 広場面積／1,009.30㎡
- 建築面積／97.63㎡：木造平屋建
- 施設内容／観光案内・休憩スペース
男女トイレ 多機能トイレ ほか

今月の「輝き！」さん

No. 86



株式会社金沢舗道 山岸海斗さん

所属：工務部機械課（オペレーター）
 経験年数：6年1ヶ月
 年齢：24歳

金沢市長田2丁目の株式会社金沢舗道に「今月の輝きさん」山岸海斗さんを訪ねました。

ーはじめに、あなたの会社について教えてください。

私が勤務する株式会社金沢舗道は、金沢市長田2丁目に本拠を置く高田産業グループ5社の一つで、昭和41年2月設立、舗装工事の設計施工及びアスファルト合材の製造販売、産業廃棄物処理業を行う社員数45名の会社です。私は工務部機械課に所属しオペレーターをしています。グループでは、土木・建築工事の設計施工、ホテル業、旅行業などを行っています。

ー出身地、入社の際の動機等について教えてください。

私はかほく市で3人兄弟の末っ子として生まれました。地元の小・中学校を経て、金沢市立工業高等学校土木科に入学しました。工業系の高校に進んだ理由は、道路や橋などの社会インフラ整備をはじめ災害時の復旧工事などを通して地域に貢献できる建設業の仕事に就きたいと思っていたからです。子供の頃から何か人の役に立てる仕事をしたいと思っていました。卒業後は地元で働くと決めていたので、先生の紹介もいただき株式会社金沢舗道に入社しました。

ー入社して7年目になりますが今の感想を一言。

入社当初は、あわただしく流れていく現場の雰囲気や圧倒され心が折れそうになる日もありましたが、今は、改めてこの仕事に対する魅力を感じる毎日です。同じ現場というのは一つもなく、無事完成させるためには全員の持てる知識や技術を結集させることが必要です。まさにチームプレーであり、自分がサッカーを通じて培ったチームプレーの精神も活かされていると思っています。まだまだ勉強の毎日ですが、オペレーターとしての技術を磨き、地域の方々に喜んで貰える道路を造りたいと思っています。

ー思い出に残る現場、苦勞した経験は？

2年ほど前に1万2千平米を超える大きな国道の舗装工事がありました。交差点でもあり交通量も多く工事が難しいうえに、天候の関係もあり大変苦勞した現場でした。実家に帰る際に通るのですがそのたびに当時の苦勞が思い出されます。

ー休日の過ごし方等について教えてください。

小学校から高校までの12年間サッカーをしていました。今も社会人のクラブチームに所属しています。小・中学校でコーチも務めているのでなかなか休めませんが、たまの休日には妻との買い物やドライブを楽しんでいます。お気に入りのカフェで美味しいコーヒーを飲みながらリフレッシュしています。

ー最後に将来の夢、目標は？

当面の目標は2級建設機械施工管理技士の資格を取得することです。一次試験の学科は合格しているので、二次試験（実技）の合格を目指して準備をしています。仕事に関する資格をなるべく多く取得し自分のスキルを高め、将来、大きな現場も安心して任せてもらえるようになりたいと思っています。



けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

石川の建設業の雇用と経営に関する調査報告書(2021 概要版)

調査概要

(1) 調査の目的

調査①	調査② (追加)
建設業界の雇用の改善や若手技術者・技能者の入職・定着を促す方策を検討する基礎資料とすることを目的に、建設業の雇用実態や経営状況について調査を実施した。	建設業界における建設DX (デジタルトランスフォーメーション) および建設キャリアアップシステムの取り組み状況を把握することを目的に調査を実施した。

(2) 調査の対象

一般社団法人石川県建設業協会の会員企業 (大手企業は除く)

調査①	調査② (追加)
対象企業：207社 回答数：146社 (回答率：70.5%)	対象企業：207社 回答数：141社 (回答率：68.1%)

(3) 調査の実施期間

調査①	調査② (追加)
令和3年8月30日～令和3年9月17日	令和3年9月7日～令和3年9月17日

(4) 調査の項目

調査①	調査② (追加)
①調査の概要 ②雇用関係について ③常用雇用者である現場職員の賃金について ④建設現場における働き方改革について ⑤建設業における女性の活躍について ⑥災害発生時の対応について ⑦受注した公共工事の採算性について ⑧発注者の対応について ⑨経営環境の見通しについて ⑩今後の建設業のあり方について (自由回答)	①建設DX (デジタルトランスフォーメーション) への取り組みについて ②建設キャリアアップシステムの導入について

(注) 各設問における回答の構成比の合計は、四捨五入の関係で100%にならない場合がある。

(5) 調査の方法

調査は(株)建設経営サービスに委託して実施した。調査票 (エクセル) は会員企業宛に電子メールで依頼した。

(6) 地区の区分

会員企業の本社所在地により、「金沢地区」(金沢市)、「加賀地区」(金沢市以南の市町)、「能登地区」(金沢市以北の市町) とした。

調査結果の概要

(1) 調査企業の概要

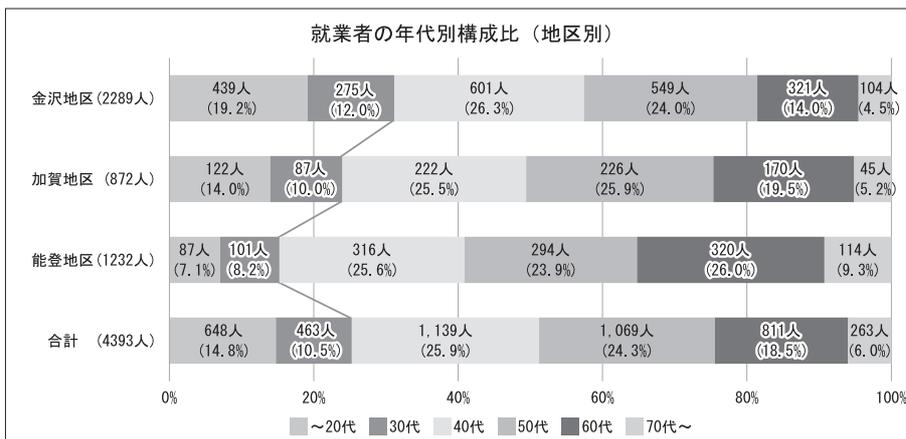
	金沢地区	加賀地区	能登地区	合計
土木	21社 (45.7%)	33社 (75.0%)	43社 (76.8%)	97社 (66.4%)
建築	12社 (26.1%)	4社 (9.1%)	2社 (3.6%)	18社 (12.3%)
土木・建築	7社 (15.2%)	4社 (9.1%)	10社 (17.9%)	21社 (14.4%)
舗装	5社 (10.9%)	3社 (6.8%)	1社 (1.8%)	9社 (6.2%)
その他	1社 (2.2%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	1社 (0.7%)
合計	46社 (100.0%)	44社 (100.0%)	56社 (100.0%)	146社 (100.0%)

(2) 雇用関係

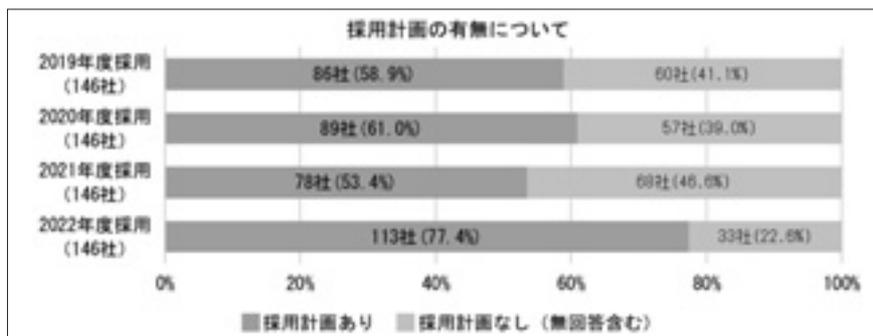
就業者（職種別・年代別）割合

性別	職種	年齢						合計	構成比
		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～		
男性	役員	0人	21人	76人	96人	129人	77人	399人	(10.7%)
	技術職	337人	214人	585人	494人	392人	77人	2,099人	(56.2%)
	技能職	146人	84人	184人	172人	129人	50人	765人	(20.5%)
	事務・営業職	48人	50人	110人	156人	85人	20人	469人	(12.6%)
	合計	531人	369人	955人	918人	735人	224人	3,732人	(100.0%)
	構成比	(14.2%)	(9.9%)	(25.6%)	(24.6%)	(19.7%)	(6.0%)	(100.0%)	-
女性	役員	0人	1人	11人	16人	18人	18人	64人	(9.7%)
	技術職	55人	23人	23人	25人	8人	2人	136人	(20.6%)
	技能職	6人	1人	6人	2人	1人	4人	20人	(3.0%)
	事務・営業職	56人	69人	144人	108人	49人	15人	441人	(66.7%)
	合計	117人	94人	184人	151人	76人	39人	661人	(100.0%)
	構成比	(17.7%)	(14.2%)	(27.8%)	(22.8%)	(11.5%)	(5.9%)	(100.0%)	-
男女計	役員	0人	22人	87人	112人	147人	95人	463人	(10.5%)
	技術職	392人	237人	608人	519人	400人	79人	2,235人	(50.9%)
	技能職	152人	85人	190人	174人	130人	54人	785人	(17.9%)
	事務・営業職	104人	119人	254人	264人	134人	35人	910人	(20.7%)
	合計	648人	463人	1,139人	1,069人	811人	263人	4,393人	(100.0%)
	構成比	(14.8%)	(10.5%)	(25.9%)	(24.3%)	(18.5%)	(6.0%)	(100.0%)	-

年齢別構成比



採用計画



採用計画数に対する採用人数

採用区分/採用年次		2019年度採用		2020年度採用		2021年4月採用		
		採用人数/計画数	充足率	採用人数/計画数	充足率	採用人数/計画数	充足率	
技術職	新卒	高校新卒	29 / 89	32.6%	34 / 102	33.3%	37 / 95	38.9%
		短大・高専新卒	9 / 31	29.0%	6 / 29	20.7%	7 / 27	25.9%
		大学・大学院新卒	22 / 55	40.0%	12 / 53	22.6%	26 / 53	49.1%
		小計	60 / 175	34.3%	52 / 184	28.3%	70 / 175	40.0%
	中途採用	78 / 84	92.9%	57 / 99	57.6%	15 / 68	22.1%	
	技術職計	138 / 259	53.3%	109 / 283	38.5%	85 / 243	35.0%	
技能職	新卒	高校新卒	9 / 35	25.7%	12 / 40	30.0%	12 / 40	30.0%
		短大・高専新卒	0 / 5	0.0%	2 / 5	40.0%	2 / 9	22.2%
		大学・大学院新卒	0 / 8	0.0%	1 / 8	12.5%	0 / 8	0.0%
		小計	9 / 48	18.8%	15 / 53	28.3%	14 / 57	24.6%
	中途採用	54 / 44	122.7%	42 / 42	100.0%	19 / 36	52.8%	
	技能職計	63 / 92	68.5%	57 / 95	60.0%	33 / 93	35.5%	
	技術職・技能職計	201 / 351	57.3%	166 / 378	43.9%	118 / 336	35.1%	
事務・営業職	新卒	高校新卒	6 / 7	85.7%	3 / 5	60.0%	3 / 6	50.0%
		短大・高専新卒	2 / 2	100.0%	1 / 2	50.0%	3 / 1	300.0%
		大学・大学院新卒	9 / 17	52.9%	13 / 15	86.7%	7 / 13	53.8%
		小計	17 / 26	65.4%	17 / 22	77.3%	13 / 20	65.0%
	中途採用	48 / 8	600.0%	27 / 12	225.0%	18 / 6	300.0%	
	事務・営業職計	65 / 34	191.2%	44 / 34	129.4%	31 / 26	119.2%	
	新卒計	86 / 249	34.5%	84 / 259	32.4%	97 / 252	38.5%	
	中途計	180 / 136	132.4%	126 / 153	82.4%	52 / 110	47.3%	
	合計	266 / 385	69.1%	210 / 412	51.0%	149 / 362	41.2%	

離職状況

採用者の離職状況 (全体)

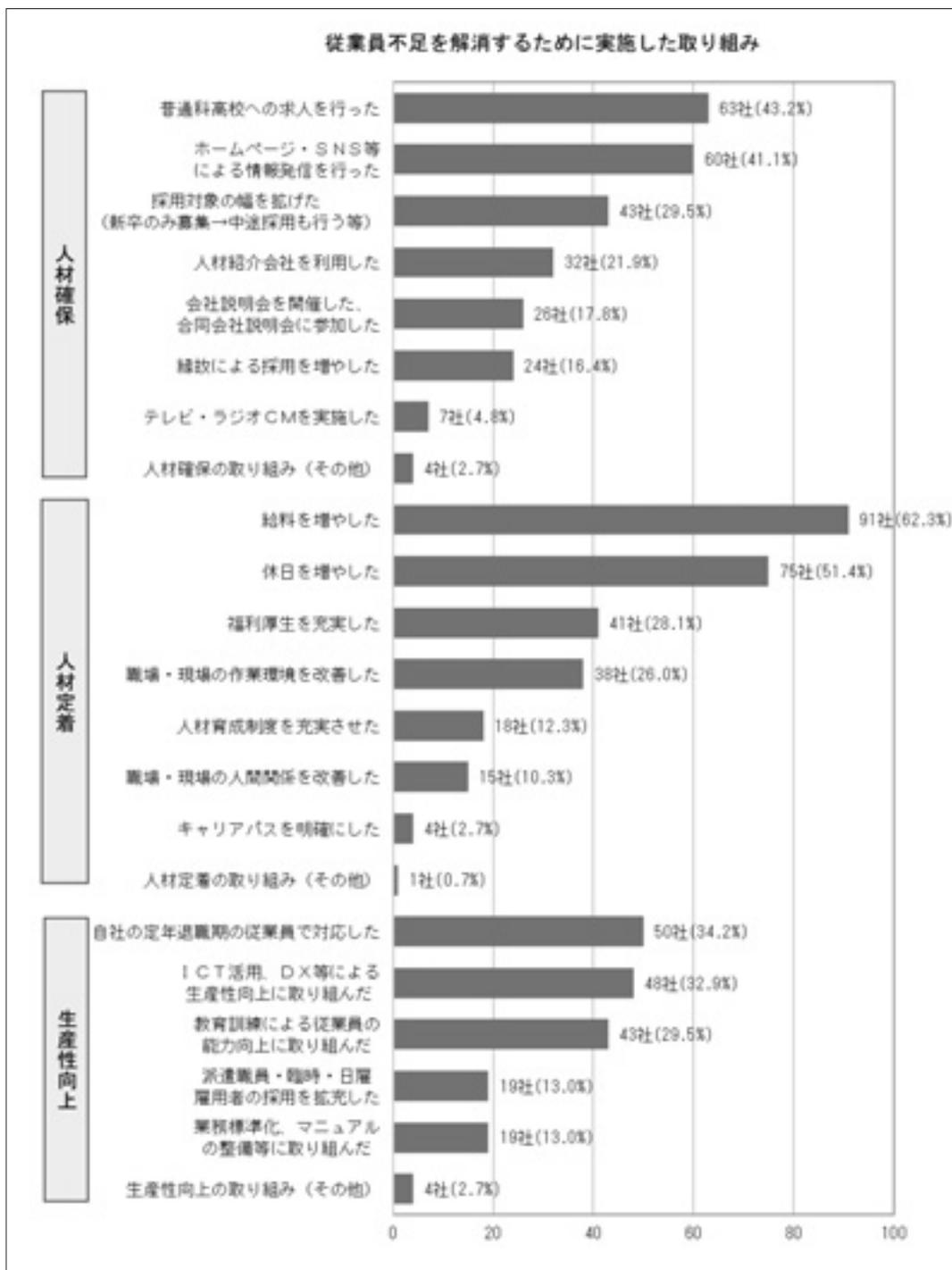
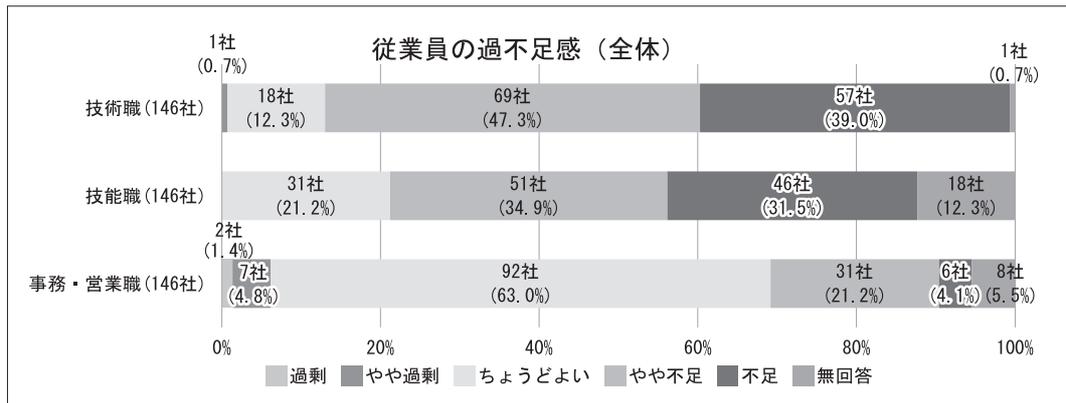
採用年次/採用区分			採用数	2019年度		2020年度		2021年度		合計	
				離職数	離職率	離職数	離職率	離職数	離職率	離職数	離職率
2019年度採用	男性/女性	男性	260人	33人	12.7%	31人	11.9%	11人	4.2%	75人	28.8%
		女性	66人	9人	13.6%	7人	10.6%	2人	3.0%	18人	27.3%
	新卒/中途	新卒	90人	14人	15.6%	3人	3.3%	7人	7.8%	24人	26.7%
		中途	236人	28人	11.9%	35人	14.8%	6人	2.5%	69人	29.2%
		計	326人	42人	12.9%	38人	11.7%	13人	4.0%	93人	28.5%

新卒採用の3年以内離職率 (全国: 2018年3月卒)

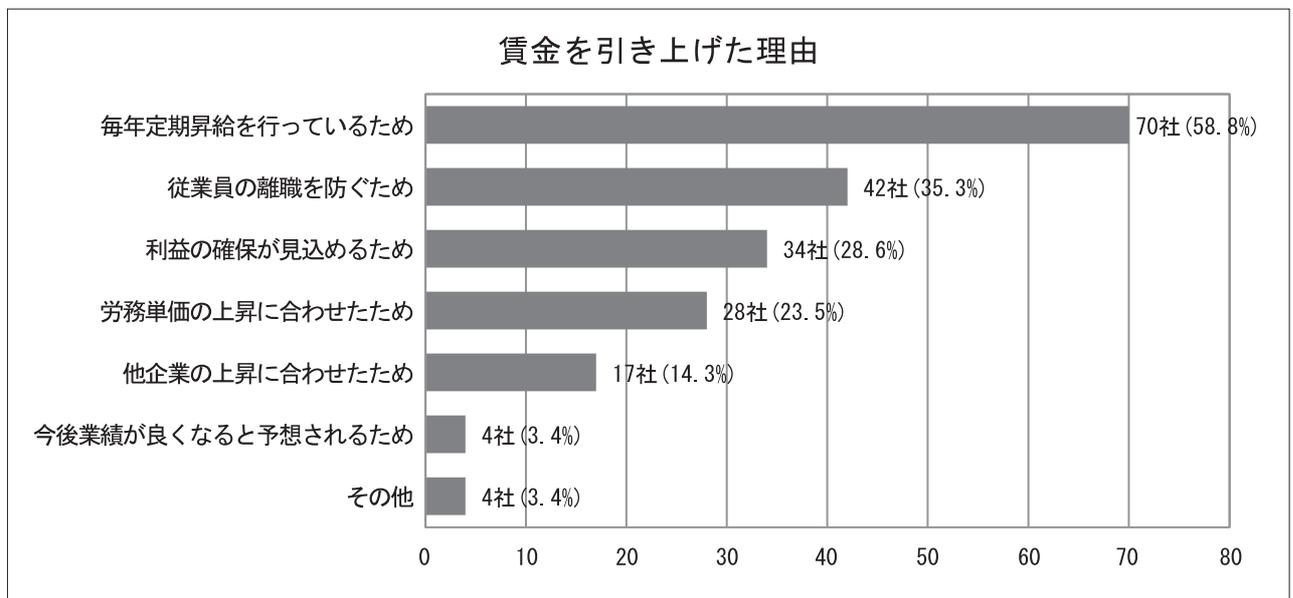
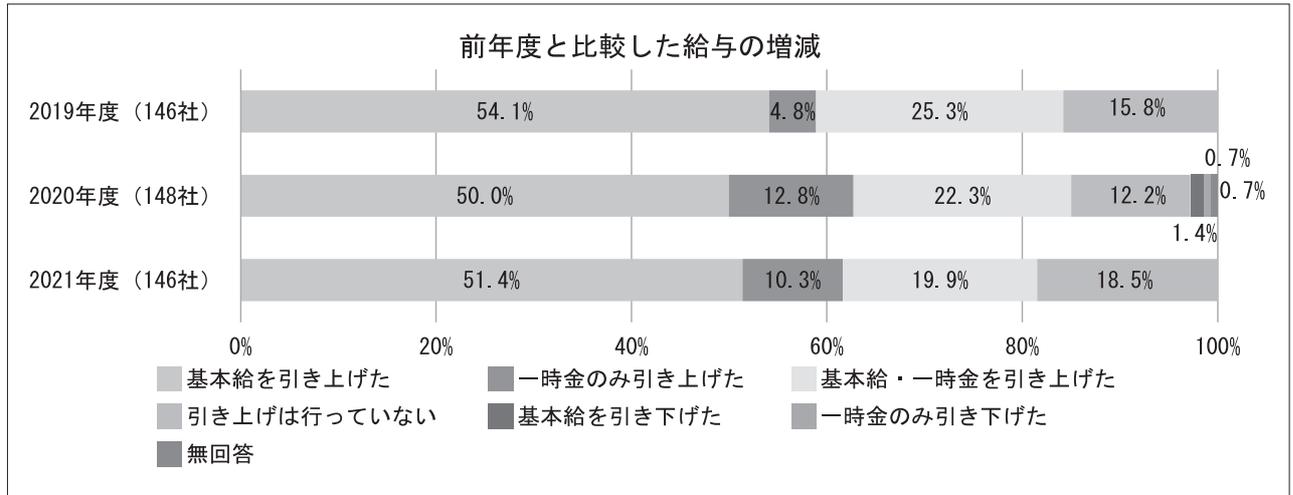
	全産業			製造業			建設業		
	就職者数	離職者数	離職率	就職者数	離職者数	離職率	就職者数	離職者数	離職率
中学卒	1,116人	614人	55.0%	380人	110人	28.9%	360人	245人	68.1%
高校卒	175,291人	64,635人	36.9%	74,076人	20,151人	27.2%	14,218人	6,078人	42.7%
短大等卒	149,774人	62,022人	41.4%	10,946人	3,420人	31.2%	4,278人	1,762人	41.2%
大学卒	462,084人	144,047人	31.2%	71,024人	13,460人	19.0%	20,171人	5,649人	28.0%
合計	788,265人	271,318人	34.4%	156,426人	37,141人	23.7%	39,027人	13,734人	35.2%

出典: 厚生労働省「新規学卒者の産業別離職状況」

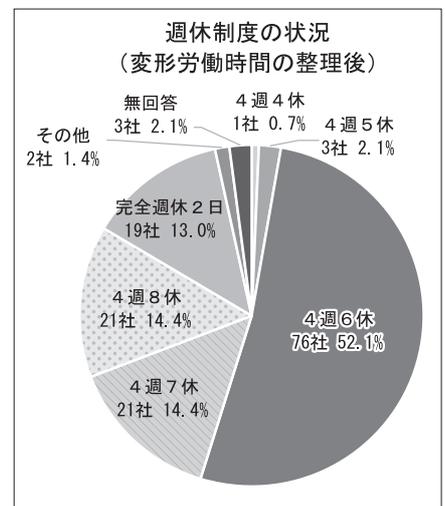
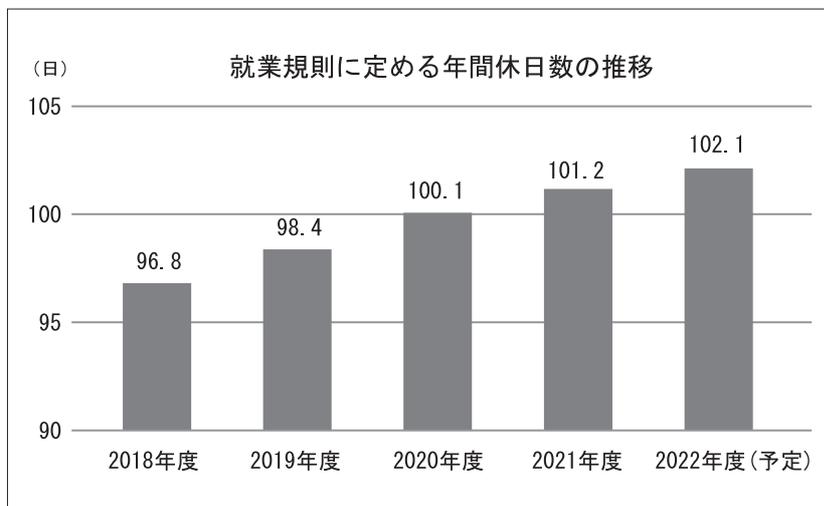
従業員の過不足感と不足解消のための取り組み

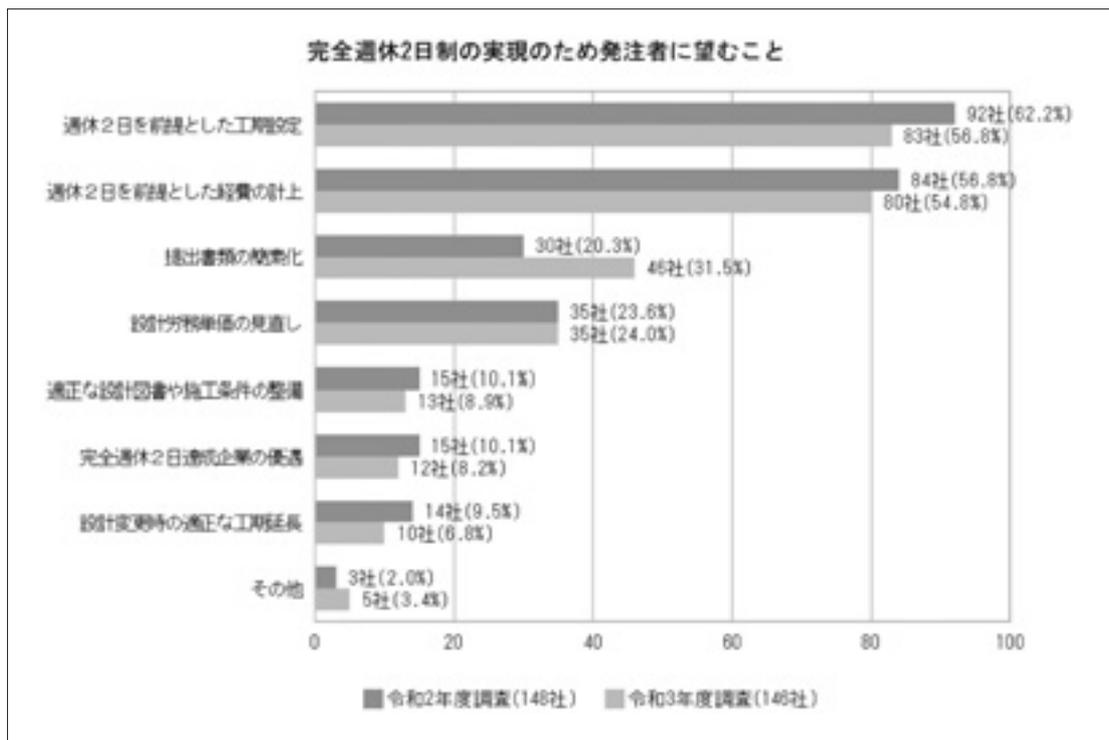
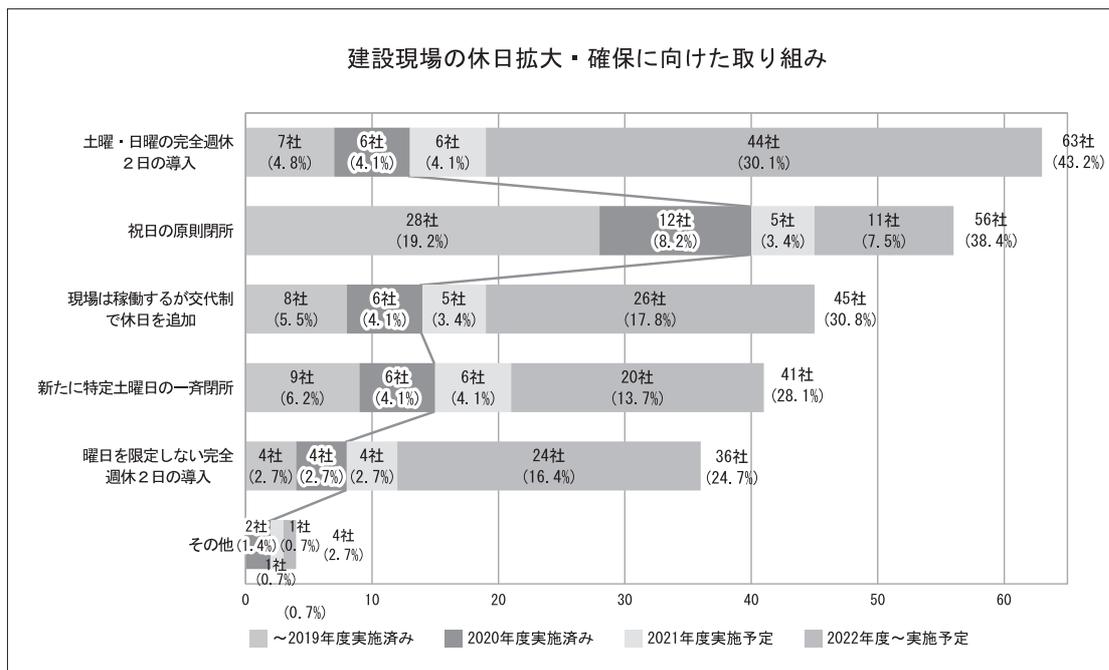
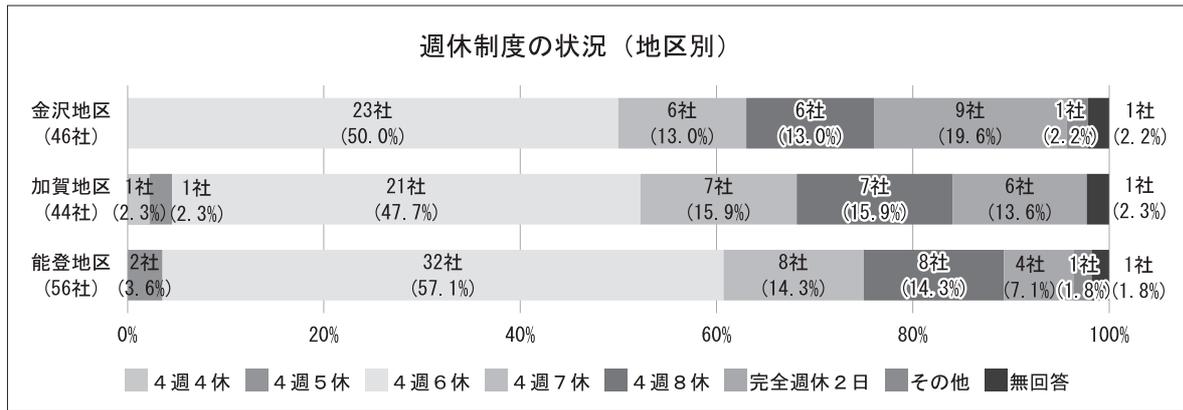


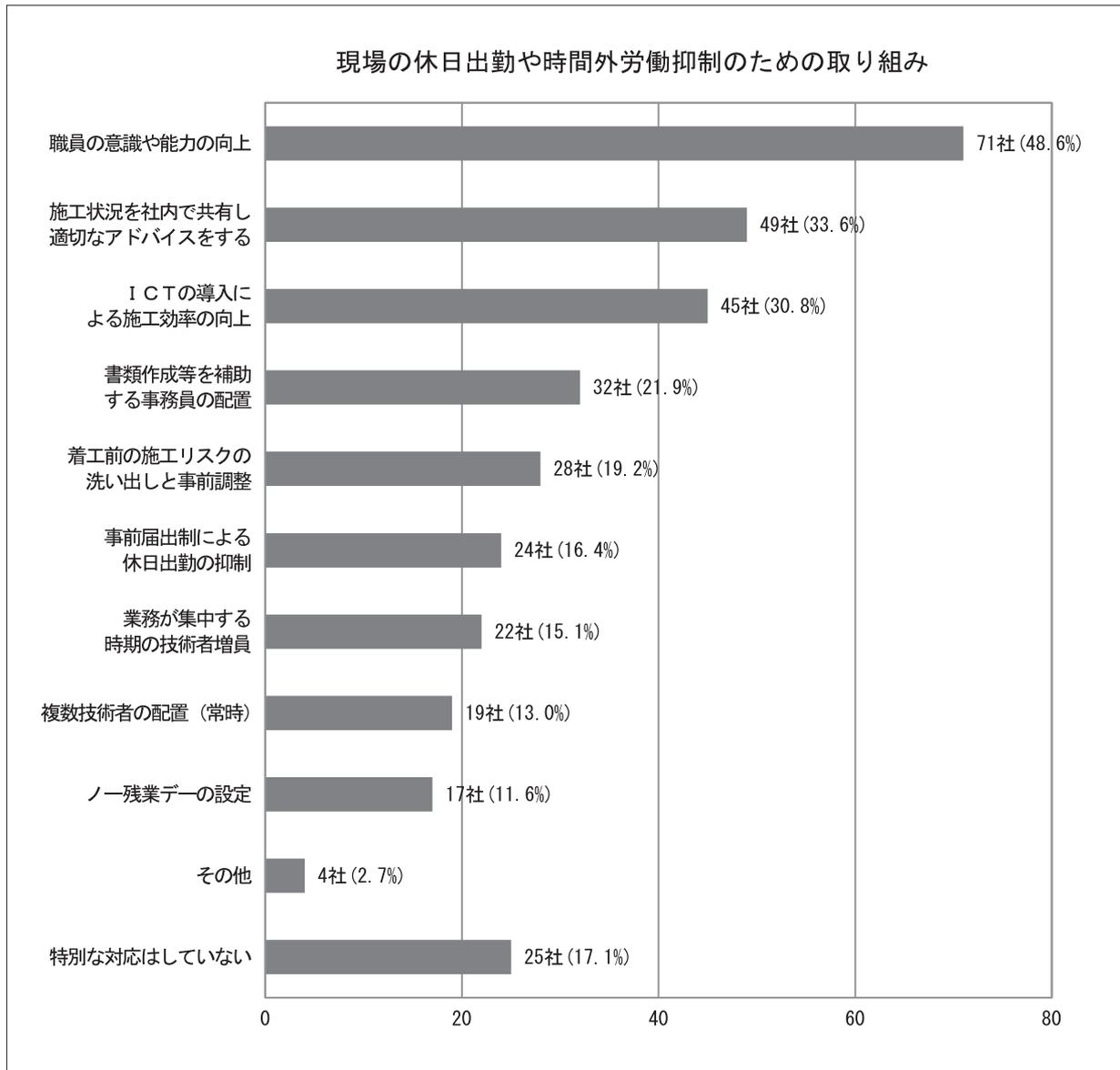
(3) 常用雇用者である現場職員（技術者・技能者）の賃金



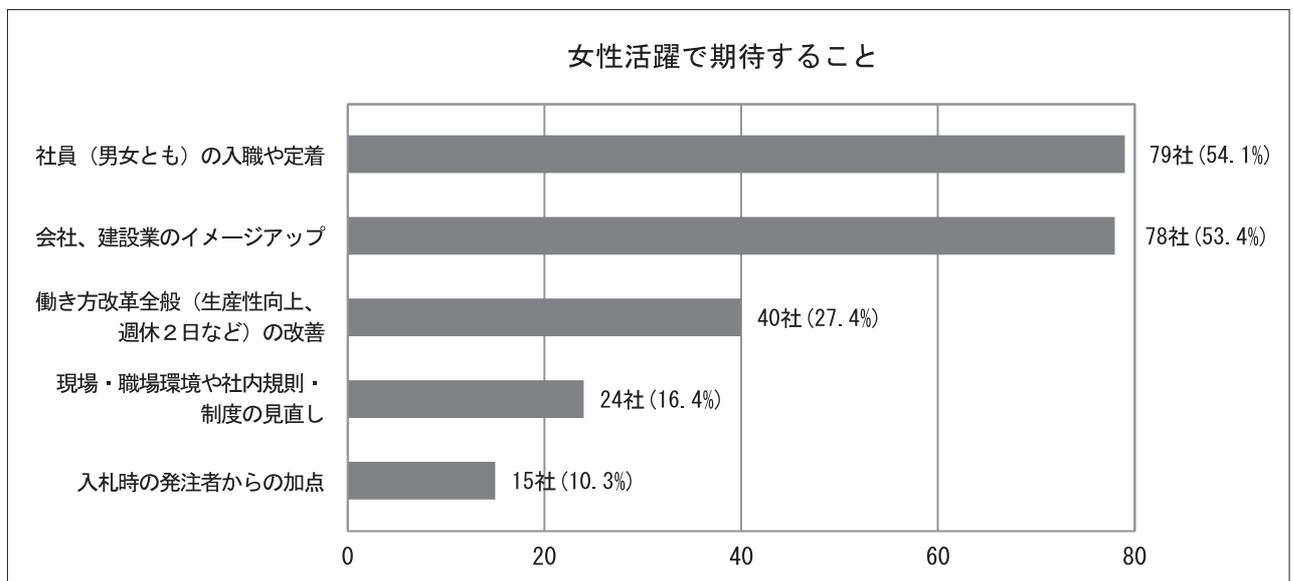
(4) 建設現場における働き方改革

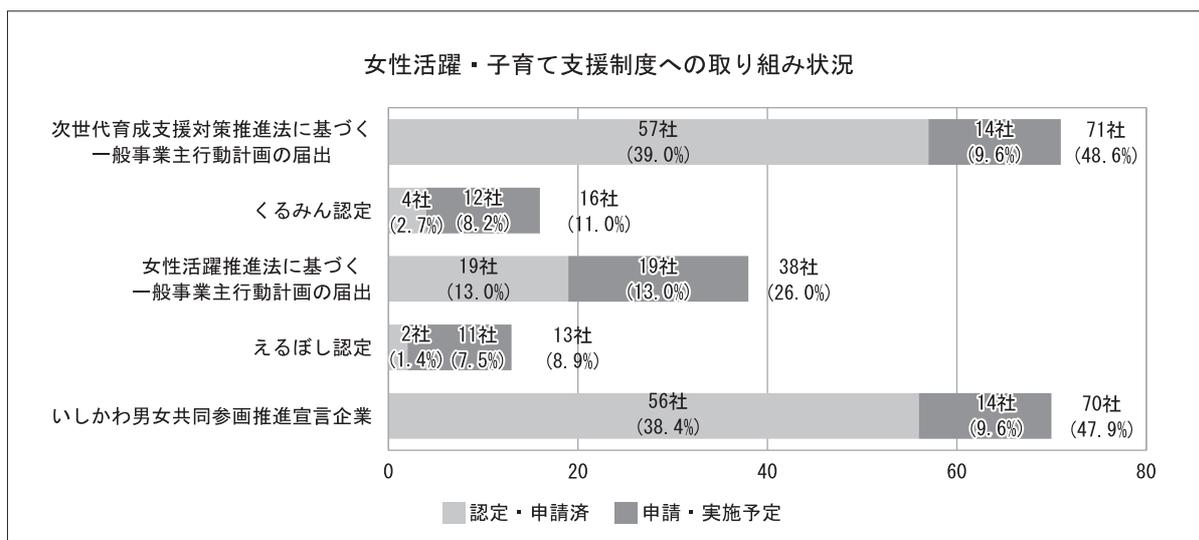
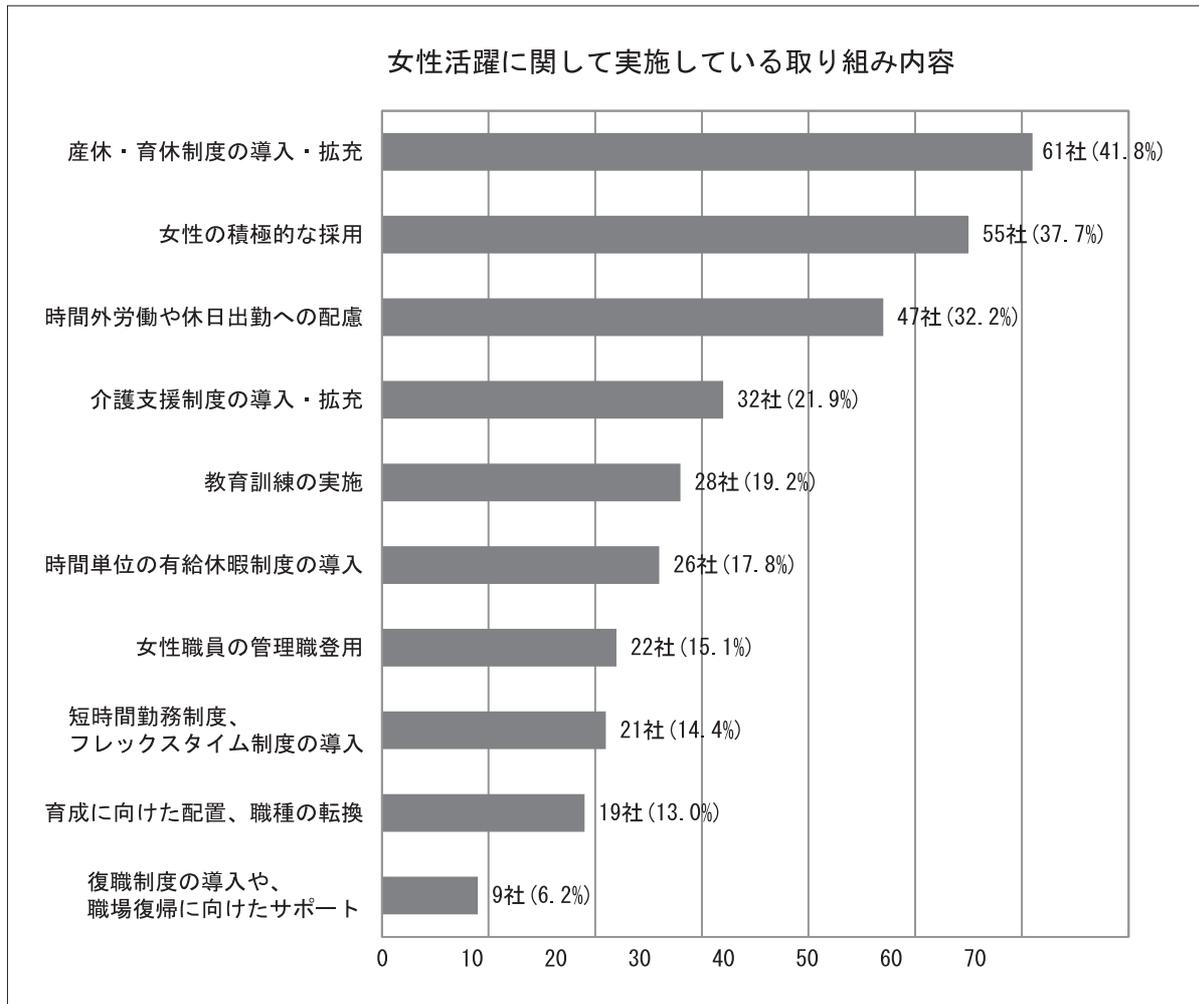




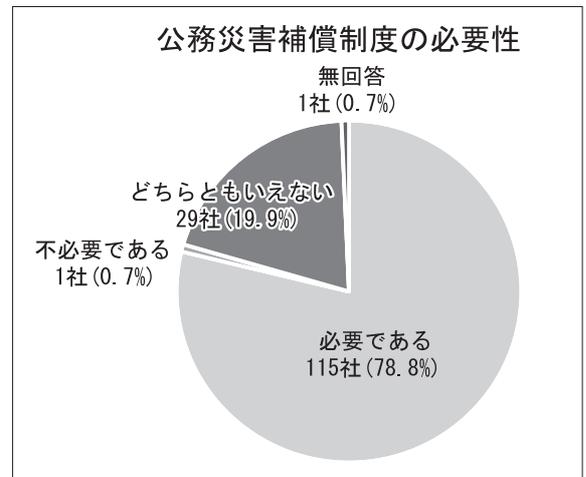
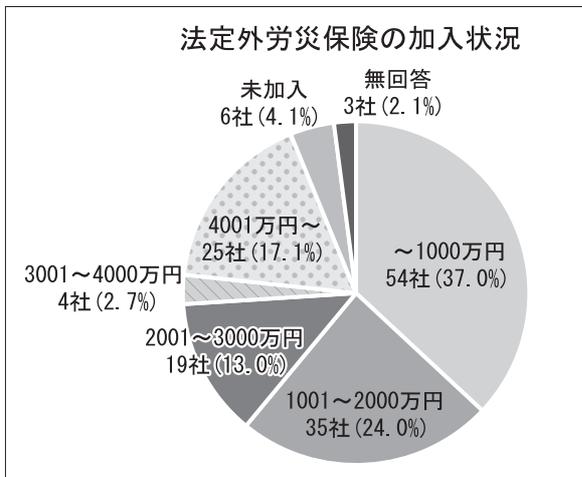
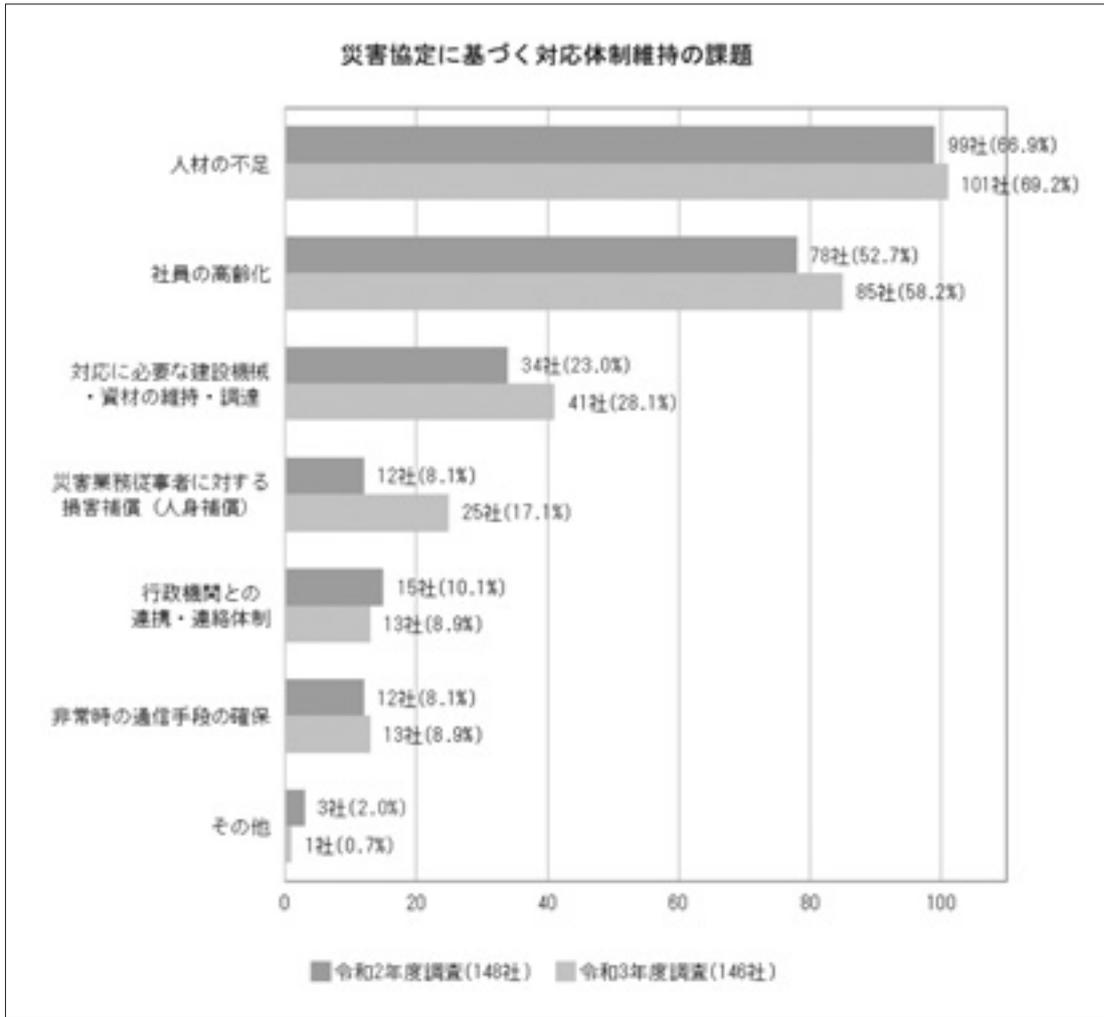


(5) 建設業における女性の活躍

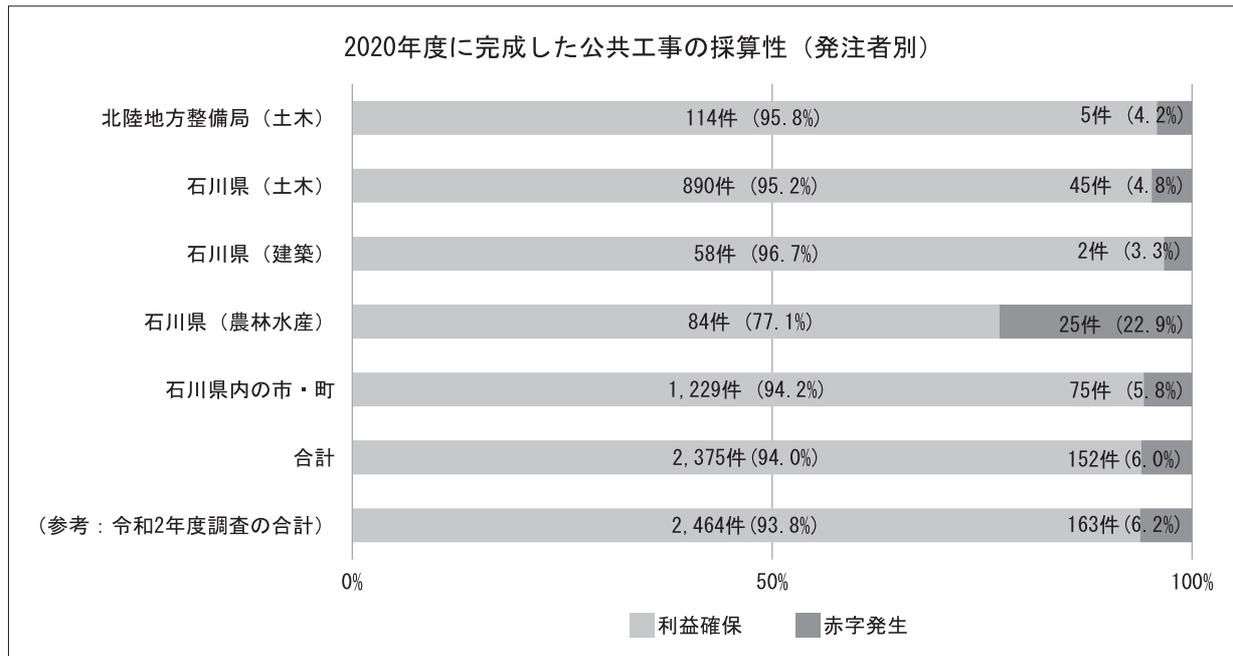




(6) 災害発生時の対応



(7) 受注した公共工事の採算性



赤字の発生理由

項目	北陸地整 （土木） 5社	石川県 （土木） 21社	石川県 （農林水産） 16社	石川県内 の市・町 32社
労務費の値上がり	1社 (20.0%)	6社 (28.6%)	5社 (31.3%)	12社 (37.5%)
材料費の値上がり	2社 (40.0%)	4社 (19.0%)	2社 (12.5%)	10社 (31.3%)
発注者の積算漏れ	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	3社 (18.8%)	4社 (12.5%)
積算単価の乖離	2社 (40.0%)	6社 (28.6%)	8社 (50.0%)	13社 (40.6%)
増額変更が無かった	0社 (0.0%)	6社 (28.6%)	5社 (31.3%)	13社 (40.6%)
発注者都合の工期延長	1社 (20.0%)	3社 (14.3%)	2社 (12.5%)	2社 (6.3%)
発注者都合の着工遅れ	3社 (60.0%)	2社 (9.5%)	3社 (18.8%)	1社 (3.1%)
発注者の対応（ワンデーレスポンス）が不十分	2社 (40.0%)	2社 (9.5%)	0社 (0.0%)	3社 (9.4%)
受発注者間の情報共有不足	1社 (20.0%)	2社 (9.5%)	2社 (12.5%)	2社 (6.3%)
その他	0社 (0.0%)	5社 (23.8%)	4社 (25.0%)	5社 (15.6%)

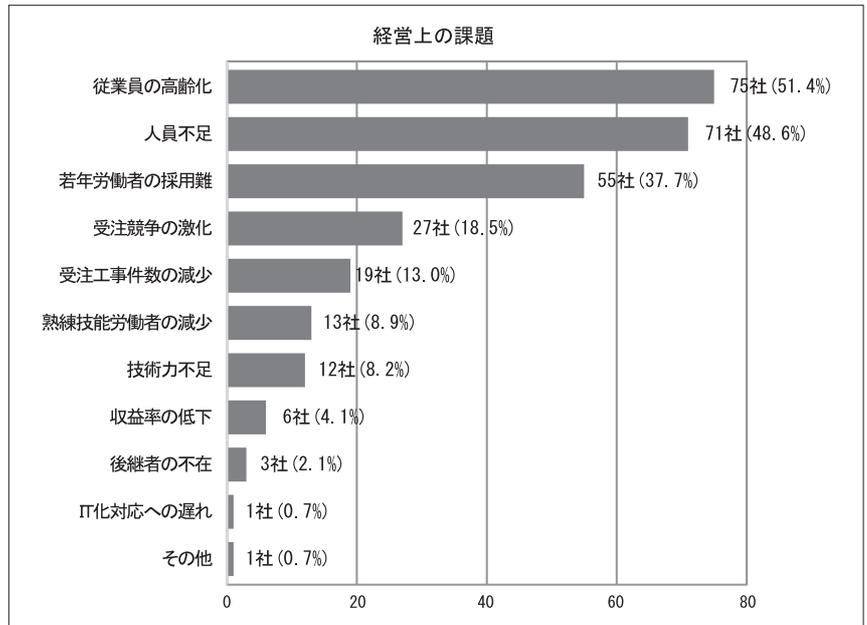
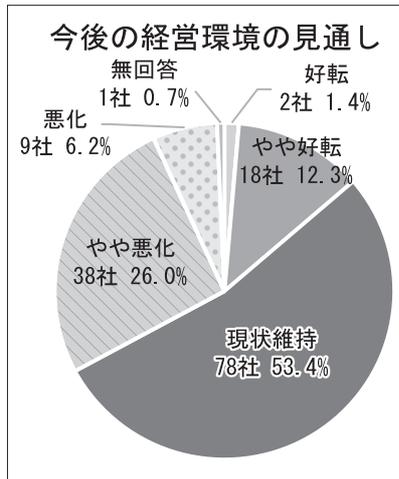
※回答率が30%を超える項目を■で表示している。

公共工事の利益確保のために発注者に望むこと（業種別）

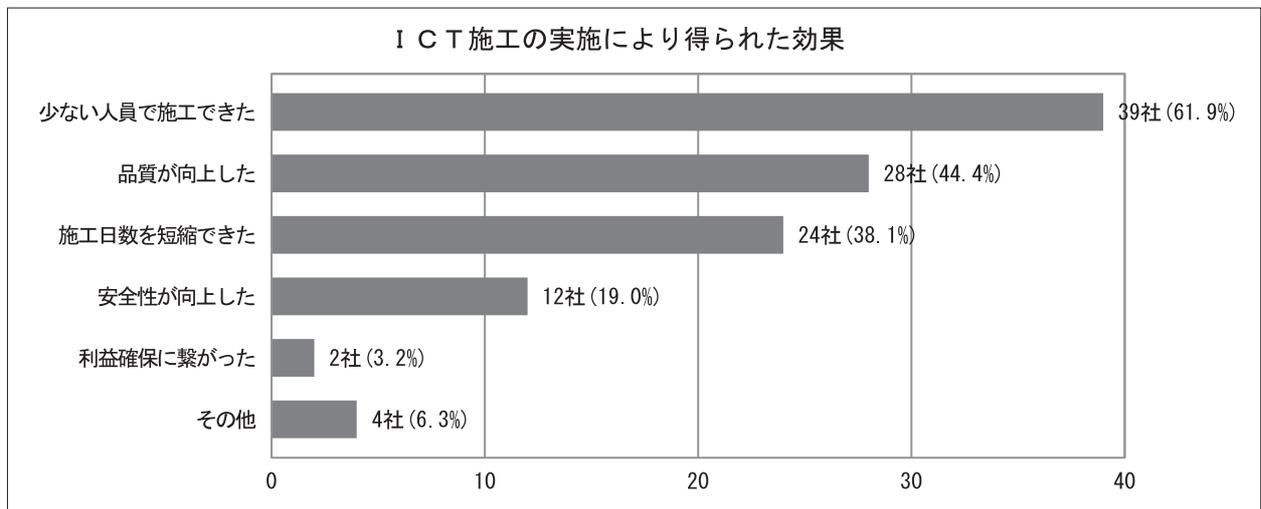
項目	土木 97社	建築 18社	土木・建築 21社	舗装 9社	その他 1社	合計 146社
市場の状況に応じた適正な 予定価格の設定	44社 (45.4%)	13社 (72.2%)	13社 (61.9%)	3社 (33.3%)	1社 (100.0%)	74社 (50.7%)
契約変更への柔軟な対応	41社 (42.3%)	2社 (11.1%)	7社 (33.3%)	3社 (33.3%)	1社 (100.0%)	54社 (37.0%)
余裕を持った工期の設定	29社 (29.9%)	8社 (44.4%)	5社 (23.8%)	4社 (44.4%)	0社 (0.0%)	46社 (31.5%)
適切な積算の実現	23社 (23.7%)	6社 (33.3%)	7社 (33.3%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	36社 (24.7%)
不備のない設計図書による 発注	26社 (26.8%)	4社 (22.2%)	4社 (19.0%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	34社 (23.3%)
発注・施工時期の平準化	14社 (14.4%)	2社 (11.1%)	3社 (14.3%)	7社 (77.8%)	0社 (0.0%)	26社 (17.8%)
最低制限価格算定式の見直し や上限の撤廃	5社 (5.2%)	0社 (0.0%)	2社 (9.5%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	7社 (4.8%)
その他	2社 (2.1%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	2社 (1.4%)

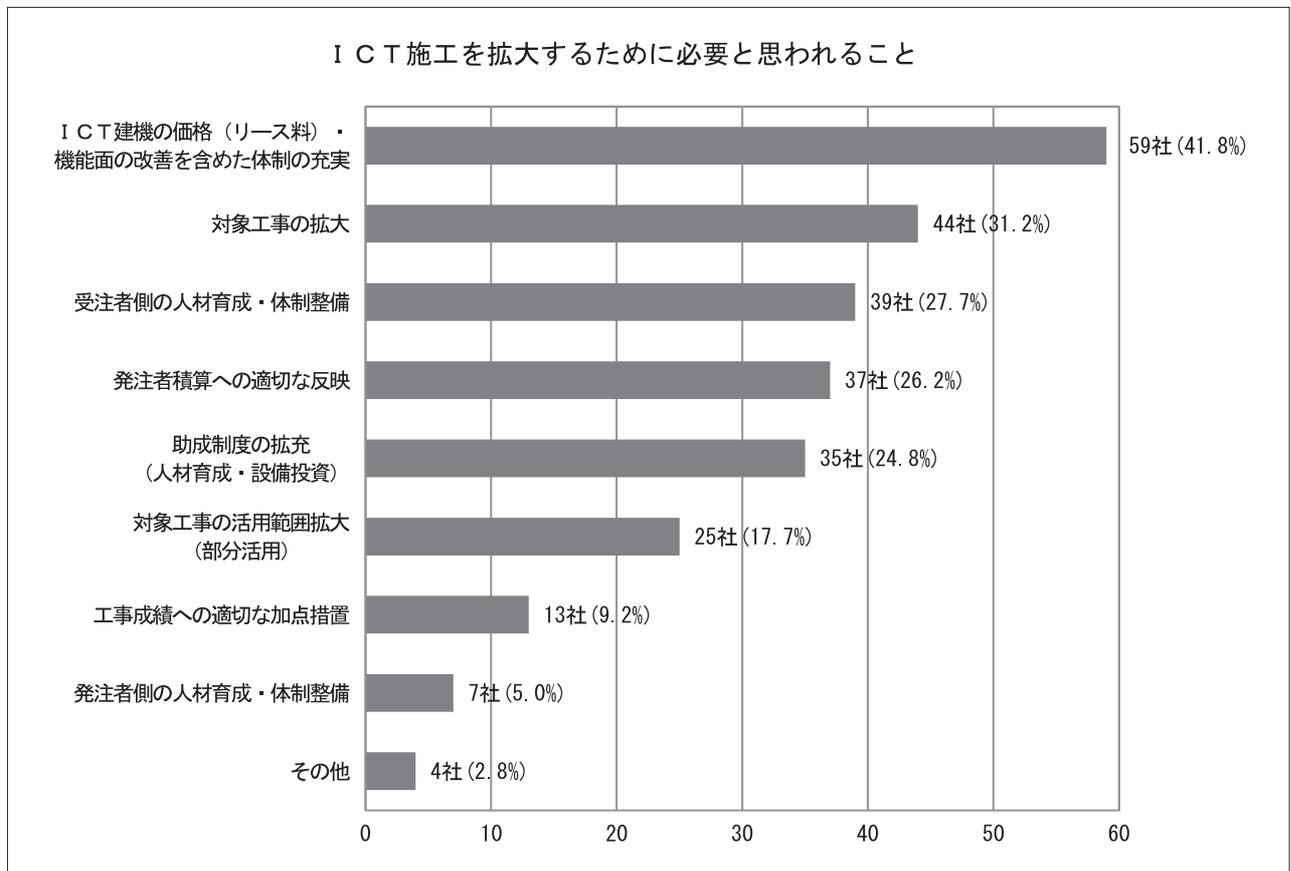
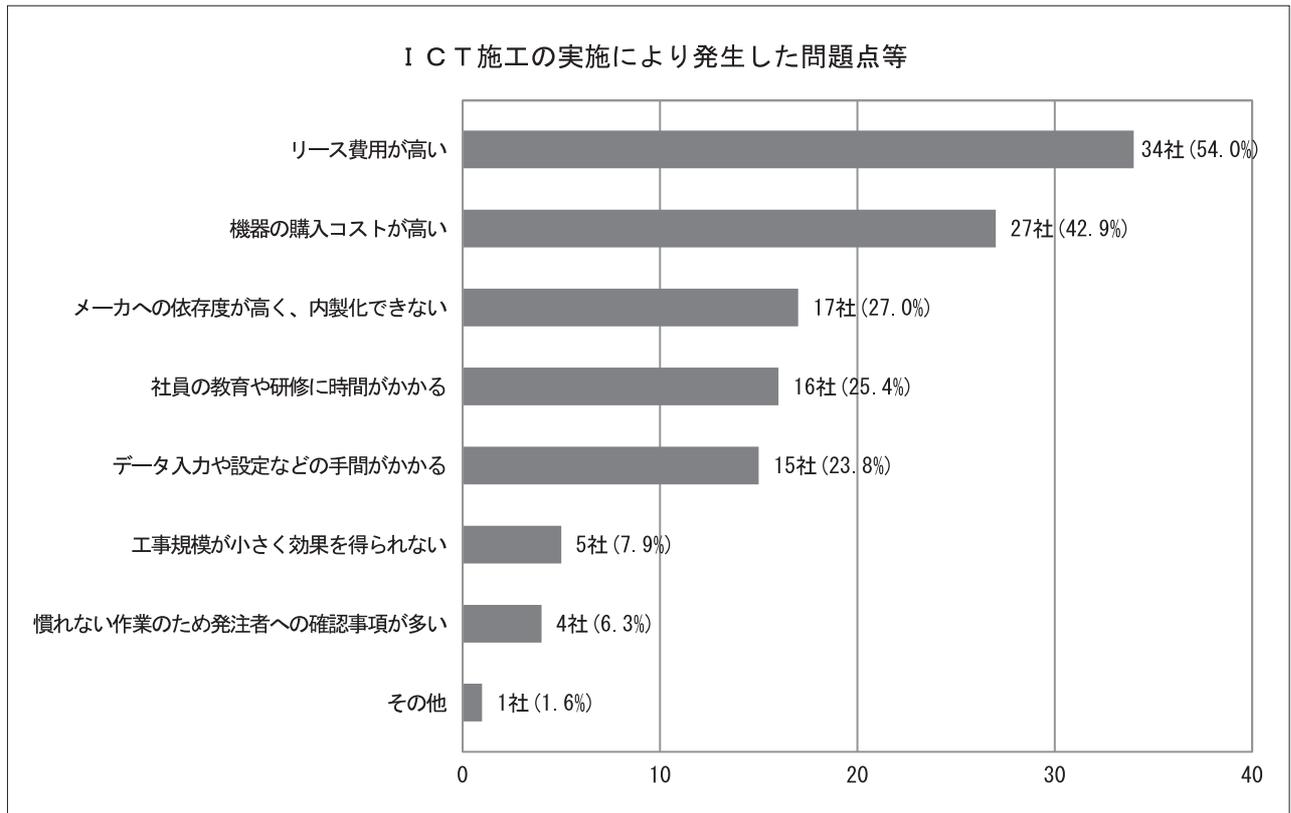
※回答率が30%を超える項目を■で表示している。

(8) 経営環境の見通し

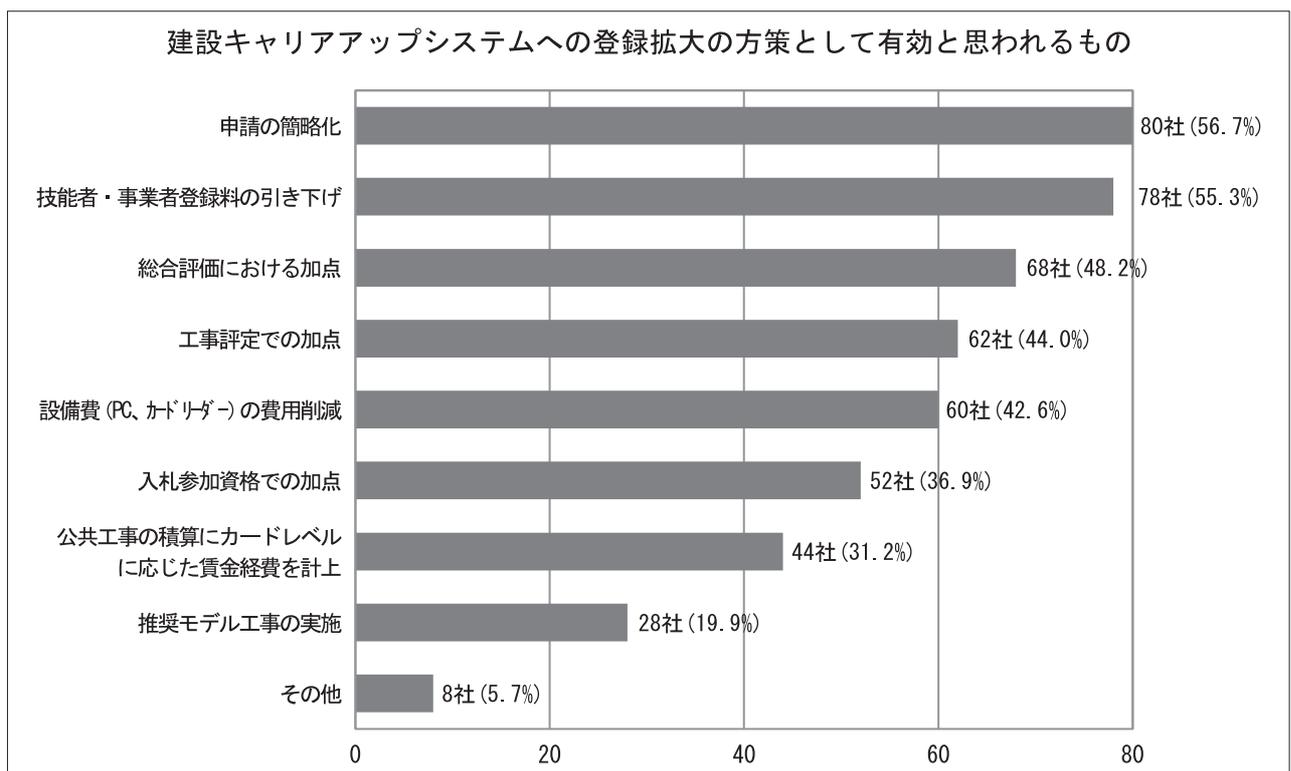
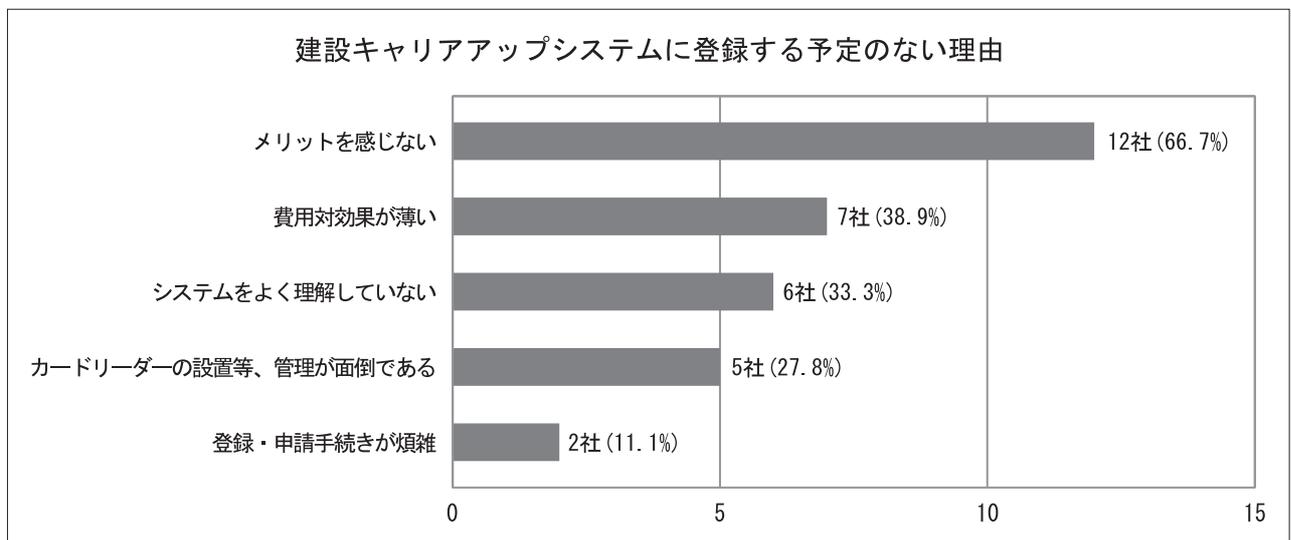
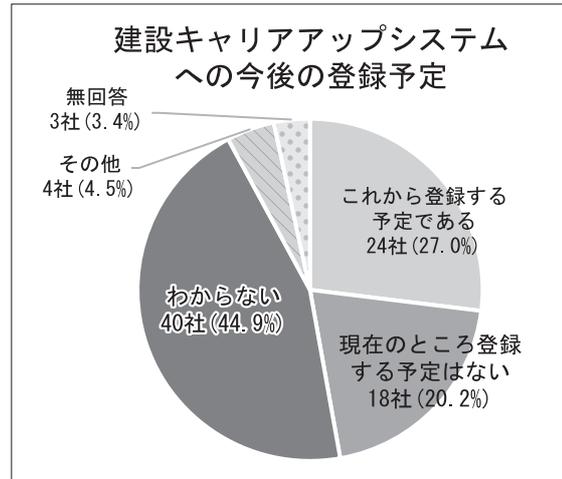
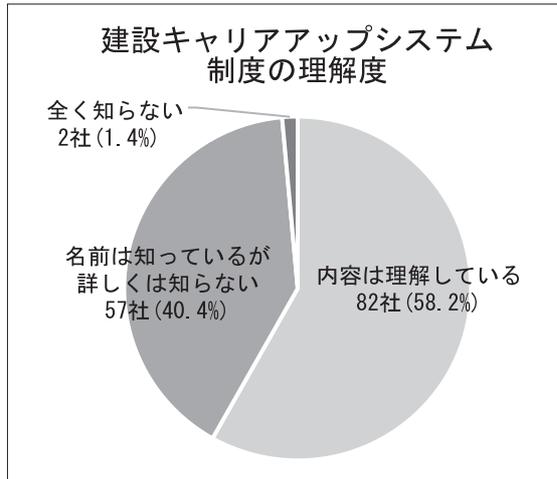


(9) 建設DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組み





(10) 建設キャリアアップシステムの導入



まとめ いしかわの地域を支える建設業であるために

①担い手の確保・育成

会員企業における就業者の約半数が50代以上と高齢化が進んでいる。また、従業員が不足していると回答した企業の割合も技術職で8割超、技能職で6割超となっており、技術系従業員の慢性的な不足を訴える企業は多い。

採用計画に対する採用人数（充足率）は、新卒で4割を下回り、中途採用を含めても4割程度に留まっている一方、入職から3年以内の離職率は約3割と高い。

このため、各企業において担い手の確保・育成に向けて、積極的な採用活動、福利厚生・人材育成制度の充実、職場環境の改善、教育訓練による能力向上を図るなどの効果的な取り組みを進めていくことが求められる。

②建設現場における働き方改革の推進

2024年4月から「時間外労働の罰則付き上限規制」が建設業にも適用される。建設現場の休日拡大・確保に向けて、各企業における年間休日数の増加や週休2日の実現への取り組みは着実に進んでいるが依然として地域差が見られる状況である。

このため、「目指せ週休2日+360時間運動」を呼び掛けるとともに、各企業においても、賃金の引き上げ、職員の意識や能力の向上、生産性向上を目指したICTの導入などの取り組みが促進されるよう働きかけていく。また、発注者に対しては、更なる発注・施工時期の平準化、週休2日を実現できる工期設定、書類の簡素化などを求めていく。

③建設業における女性の活躍

多くの企業は女性の活躍が企業のイメージアップや社員の入職や定着などに繋がると期待している一方、女性活躍に関する制度の周知が不十分で企業間の取り組みに差が見られる。

全国建設業協会が策定した「女性の定着促進に向けたロードマップ」に掲げられた目標の達成を目指して、女性部会「百万石小町『結』」の活動などを通じて、各企業が積極的に女性の定着促進に向けた方策に取り組めるよう女性活躍に関する制度、活動の周知を図る。

④災害への対応体制維持

災害対応における課題として「人材の不足」「社員の高齢化」が挙げられるなど、担い手の不足は極めて深刻である。

建設業が除雪、災害対応など「地域の守り手」としての役割を担い続けるためにも、中長期的な担い手の確保・育成を図っていかなければならない。また、応急復旧時に事故に合う危険性が高いことから公務災害補償制度の適用を望む意見が多数を占めている。

災害協定に基づいた出動であることから、災害協定の見直しと公務災害補償制度の創設について検討するよう求めていく。

⑤建設DXへの取り組み

働き方改革を実現するための生産性向上策として建設DXが期待されている中、ICT施工により生産性の向上が図られた一方で、利益確保につながっていない状況がある。「リース費用・機器の購入コストが高い」「メーカーへの依存度が高く内製化できない」「社員の教育や研修に時間がかかる」など費用面及び人材面の両面から問題点が挙げられた。

受注者側として「人材育成・体制整備」を図るとともに、発注者に対して「ICT建機の価格（リース料）・機能面の改善」「発注者積算への適切な反映」「助成制度の充実（人材育成・設備投資）」などを求めていく。

⑥建設キャリアアップシステムの普及促進

建設キャリアアップシステムについて「内容は理解している」と回答した企業は約6割、事業者登録は約4割に留まっており、未登録理由として「メリットを感じない」「費用対効果が薄い」との意見が多く挙げられた。

普及促進に向けて、国に対して登録手続きの簡素化、技能者の処遇改善に繋がる道筋を明確に示すこと、キャリアアップに伴う具体的な処遇アップ方策などに取り組むよう要望していく。

技能者の処遇改善を推進するため、会員企業には引き続きシステムへの登録を呼びかけるとともに、発注者において現場利用でのインセンティブの導入が進んでいることからその取り組みを注視していく。

⑦入札・契約制度の更なる改善

担い手の確保・育成、働き方改革の推進には経営の安定化が不可欠である。そのためには、企業の努力だけでなく、「持続的・安定的な予算の確保」と「工事ごとに利益の確保が可能な入札契約制度の改善」が重要である。

発注者によっては利益の出ない事例が見られることから、新・担い手3法の内容が全ての発注者に浸透し適用されるよう注視するとともに、今後とも、発注者に対して更なる入札・契約制度の改善を求めていく。

⑧最後に（いしかわの地域を支える建設業であるために）

建設業は県内就業者の約1割を占める基幹産業として、県民の生活や経済活動に必要な社会資本整備・維持管理の役割を担っている。また、災害や除雪等で迅速に対応する「地域の守り手」である地元建設業者は無くてはならない存在である。建設業が魅力ある産業であることを戦略的かつ効果的に伝えるため広報力の強化を図っていく。

地域建設業が若者から選ばれる産業となるためには、就労環境の改善（給料、休日等の処遇改善）を図るとともに、将来の担い手の確保・育成に向けた様々な取り組みを加速させていかなければならない。

引き続き、働き方改革と生産性向上を両輪に職場環境の改善に取り組んでいく。

委員会の開催

土木委員会

◎正副委員長会議の開催

開催日時 令和4年4月21日(木) 13:30~15:30
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 正副委員長4名、事務局1名

概要

6月開催予定の役員会、第1回全体会議に関する議事内容及び役員改選、各地区協会との意見交換会等について審議を行った。



会議状況写真

〈審議事項〉

1. 令和4年度の役員改選及び委員について
2. 役員会（第1回）について
 - ・開催日程及び懇談会の開催について
 - ・審議事項について
3. 全体会議（第1回）について
 - ・開催日程及び開催方法について
 - ・講演会及び懇談会について
4. 令和3年度の活動報告及び決算報告について
5. 令和4年度の活動計画及び予算について
6. 地区協会との意見交換会について
7. その他

土地改良委員会

◎正副委員長・部会長会議の開催

開催日時 令和4年4月18日(月) 14:30~16:30
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 委員長、副委員長（部会長）4名、副部会長1名、事務局1名

概要

岡田康晴委員長の挨拶に続き、下記事項について審議・報告した。



〈審議事項〉

1. 令和4年度の主な取組方針について
2. 令和3年度委員会費決算報告について
3. 令和4年度委員会予算（案）について
4. 令和4年度役員会及び技術検討部会改選（案）について

〈報告事項〉

1. 令和3年度県農林水産部との意見交換会の回答要旨について
2. 令和4年度施工実態アンケート調査について
3. 2022年度第71回農業農村工学会講演会（石川大会）について

広報・研修委員会

◎企画部会の開催

開催日時 令和4年4月15日(金) 10:30~11:30
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 正副委員長3名、部会員7名、事務局4名
(リモート参加4名)



概要

冒頭、高田直人委員長が、「当委員会・部会では、すでに会議のペーパーレス化とリモートによる参加を実施しているが、今後は協会全体に広めDXを推進することが必要。また協会ホームページへの動画の積極的活用など、興味を引く内容の掲載と情報伝達のスピードアップを図る必要がある。」と挨拶。続いて下記議題について審議・報告が行われた。

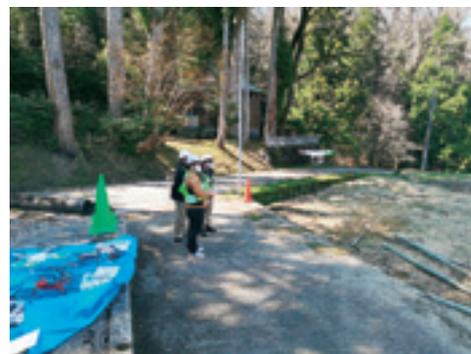
〈議題〉

1. 協会報5月号の編集計画について
2. 研修所からのお知らせ
令和4年度新入社員研修の開催結果について
3. その他

建設技術研修所

◎令和4年度ドローン講習会の開催

開催日時 令和4年4月1日(金) 9:00~12:00 (1日目)
令和4年4月2日(土) 9:30~16:00 (2日目)
開催場所 石川県建設総合センター (1日目)
金沢市七曲地内 (2日目)
講師 株式会社タップス・(一社)石川県建設業協会 室山
受講者 4名



概要

ドローン運用の基礎と現場での活用方法の習得を目的とし、1日目は石川県建設総合センター7階大会議室において座学並びにミニドローンを使った基本操作を体験し、2日目は金沢市七曲地内において、DJI製ドローン操作体験並びに写真・動画撮影等の内容の講習会を行った。今年度は全16回の開催を予定している。

◎令和4年度新入社員研修の開催

開催日時 令和4年4月5日(火) 9:30~16:00 (1日目)

令和4年4月6日(水) 9:15~15:30 (2日目)

開催場所 ホテル金沢 (1日目)

陸上自衛隊金沢駐屯地 (2日目)

出席者 101名

概要

研修は、(一社)金沢建設業協会、東日本建設業保証(株)との共催により、4月5日(火)、6日(水)の2日間の日程で実施した。県協会会員企業、地区協会会員企業の新入社員ら101名が参加した。

4月5日(火)午前9時30分から、ホテル金沢にて行われた開講式では、高田直人石川県建設業協会広報・研修委員長、本田正敏金沢建設業協会総務委員長、佐々木和宣東日本建設業保証(株)石川支店長の3氏が新入社員へ激励の言葉を贈った。

研修では、キャリアオフィスみのわ代表のキャリアカウンセラー 蓑輪紀子氏が講義を行った。参加者は、会社(組織)に属して働くとはどういうことか、建設フレッシュマンに求められる行動とは、プロとして持つべき意識とは、といった社会人の心構えのほか、ビジネスマナーやあいさつ、対人コミュニケーションの基礎なども学んだ。研修終了後のアンケートでは「とてもわかりやすい研修で勉強になった。」「社会人になって緊張していたが研修を受けて頑張ろうと思った。」などの評価をいただいた。

4月6日(水)は、35名が金沢市野田町の陸上自衛隊金沢駐屯地で隊内生活(講話、基本訓練等)を体験した。



蓑輪紀子氏の講義



陸上自衛隊金沢駐屯地にて

◎新入社員向けIT講習会の開催

開催日時 令和4年4月7日(木)、8日(金) 9:00~16:00

(第1回)

令和4年4月11日(月)、12日(火) 9:00~16:00

(第2回)

開催場所 石川県建設総合センター

出席者 31名

概要

講習会は、昨年に引き続き新入社員を対象とし、Windows10の基本設定やGoogleを活用したクラウド環境の構築・ビジネスメール作成等、業務全般にわたって活用できる内容で行われた。

受講者からは「今まで知らなかった便利な機能をたくさん知ることができた。」「今回の受講を業務で活かしていきたい。」「ビジネスメール研修をもう少しやりたかった。」といった意見があった。来年度以降も開催予定。



◎遠隔臨場講習会の開催

開催日時 令和4年4月21日(木)、22日(金)
 開催場所 石川県建設総合センター
 出席者 31名

概要

今年度第1回目の講習会は、マイクロソフト社のTeamsを使用して、受講生を発注者役(会議室)と受注者役(現場・駐車場)の4チームに分け、発注者役は、パソコンに写る現場の映像を基に確認したい事柄を受注者役に指示し、受注者役は、その指示に従ってウェアラブルカメラ等を操作する実践形式で行われた。



今後も、5月11日(水) 珠洲、6月1日(水) 小松、6月7日(火) 七尾でそれぞれ開催を予定している。

◎第44回測量コンテスト開催案内

第44回測量コンテストを、下記の要項により開催します。今年度も企業個人戦に高校生チームが参加予定です。また各地区協会代表による団体戦も行いますので各地区協会は代表チームの選定をお願いいたします。このコンテストはCPD・CPDS(4ユニット)対象予定です。

- ・名称 第44回測量コンテスト
- ・目的 水準測量の基礎技術について競い合い、技術の向上を目指すとともに親睦をはかる。
- ・主催 一般社団法人石川県建設業協会
- ・共催 一般社団法人石川県測量設計業協会(講師・指導・審査の担当)
- ・開催日時 令和4年6月10日(金) 午前9時30分～午後1時(小雨決行)
 受付開始 9時00分～ 雨天の場合6月17日(金)に順延します。
- ・開催場所 金沢市ものづくり会館 及び隣接 ふれあいゴルフ広場内
 (金沢市栗崎町4-80-1 TEL:(076)255-1518)

競技区分

競技区分	競技種目	参加チーム数
各地区協会代表による団体戦	水準測量	9チーム (各地区協会1チーム)
企業チーム・高校生チームによる個人戦	水準測量	約20チーム

- ・締切日 5月20日(金)
- ・参加料 1チーム3,000円。下記口座へお振込みください。
[振込先] 北國銀行 泉支店 (普)72026 石川県建設業協会技術研修所
- ・申し込み (一社)石川県建設業協会 建設技術研修所 担当:本多
 TEL:(076)242-1161 FAX:(076)241-9258
 E-mail:honda@ishikenkyo.or.jp

業界時報

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和4年分）

令和4年3月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	1	(3) 5	1	(3) 7	(2) 15	187
小松監督署	4	(1) 4	1	(1) 9	(3) 5	74
七尾監督署	1	(1) 1	3	(1) 5	① (1) 2	26
穴水監督署			1	1	2	15
計	6	(5) 10	6	(5) 22	① 24	302
前年同期	4	① (6) 18	2	① (6) 24		② 261

()内は木建工事 ○内は死亡者数
 対前年同期比の増減 建設業：24件→22件【2件（8.3%）減少】 全産業：261件→302件【41件（15.7%）増加】

令和3年度 建設工事受注高調（元請）

民間

(単位100万円)

	土 木			建 築			計		
	令和3年度	令和2年度	%	令和3年度	令和2年度	%	令和3年度	令和2年度	%
1月分	85	73	116.4%	1,337	1,011	132.2%	1,422	1,084	131.2%
2月分	495	70	707.1%	1,087	2,554	42.6%	1,582	2,624	60.3%
3月分	111	2,217	5.0%	2,972	2,226	133.5%	3,083	4,443	69.4%
年度累計	2,390	3,862	61.9%	26,041	18,841	138.2%	28,431	22,703	125.2%
元年度累計		3,089	77.4%		24,987	104.2%		28,076	101.3%
30年度累計		3,091	77.3%		28,412	91.7%		31,503	90.2%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	令和3年度	令和2年度	%	令和3年度	令和2年度	%	令和3年度	令和2年度	%
1月分	1,931	4,392	44.0%	598	102	586.3%	2,529	4,494	56.3%
2月分	2,806	3,089	90.8%	1,218	1,874	65.0%	4,024	4,963	81.1%
3月分	9,927	11,203	88.6%	784	411	190.8%	10,711	11,614	92.2%
年度累計	49,536	53,015	93.4%	14,234	24,623	57.8%	63,770	77,638	82.1%
元年度累計		53,522	92.6%		15,895	89.6%		69,417	91.9%
30年度累計		44,904	110.3%		10,684	133.2%		55,588	114.7%

合 計（民間+官公庁）

	令和3年度	令和2年度	%
1月分	3,951	5,578	70.8%
2月分	5,606	7,587	73.9%
3月分	13,794	16,057	85.9%

	令和3年度	令和2年度	%
年度累計	92,201	100,341	91.9%
元年度累計		97,493	94.6%
30年度累計		87,091	105.9%

県協会からのお知らせ

令和4年5月行事予定

- 5月10日(火) 協会・組合 令和3年度監査
遠隔臨場講習会 (珠洲建設業協会)
- 12日(木) 高等学校就職問題連絡協議会(県庁1109会議室)
- 13日(金) 理事会(建災防)
理事会(協会)
理事会(組合)
ドローン講習会
- 14日(土) ドローン講習会 (金沢市七曲)
- 16日(月) 会報編集委員会
- 17日(火) 広報・研修委員会 企画部会
女性部会 第1回幹事会
- 20日(金) 石川県建築士事務所協会 定時総会
(ANAホリディイン金沢スカイ)
ドローン講習会
- 21日(土) ドローン講習会 (金沢市七曲)
- 24日(火) 石川県土木施工管理技士会役員会
(ハイアットセントリック金沢)
- 25日(水) 石川県建築士会 定時総会
- 26日(木) 全国建設産業連合会 正副会長・委員長会議
理事会 (東京 建設業振興基金)
- 27日(金) 土木委員会 正副委員長会議
- 30日(月) 定時総会(建災防)
定時総会(協会)
通常総会(組合)

令和4年6月以降の行事予定

- 6月 2日(木) (公財)いしかわ緑のまち基金評議員会
(県庁1101会議室)
- 3日(金) 全国土木施工管理技士会定時総会
(アルカディア市ヶ谷)
谷本正憲前知事感謝の集い
(金沢ニューグランドホテル)
- 6日(月) 正副会長会議
常任理事会
- 7日(火) 全国建設業協会 総会 (東京 経団連会館)
- 10日(金) 土木委員会 役員会 (金沢市内会議所)
測量コンテスト(予備日:17日)
(金沢市ものづくり会館)
- 14日(火) 県建設産業連合会 正副会長会議
- 16日(木) 県建設産業連合会 監事会
- 17日(金) 石川県土木施工管理技士会総会・講演会
(石川県地場産業振興センター)
- 20日(月) 県建設産業連合会 理事会・総会
- 21日(火) 女性部会 全体会議
(ANAホリディイン金沢スカイ)
- 23日(木) 北陸地方整備局との意見交換会
(ホテル日航金沢)
- 7月 5日(火) 正副会長会議
- 10月27日(木) 北陸地区建設業協会 地域懇談会 (富山)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- ②投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- ③協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
- ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 5月19日(木) 定時総会
 23日(月) 建築部会：全体会
 24日(火) 建築部会：住宅・環境委員会
 土木部会：役員会
 25日(水) 建築部会：全体会懇親会
 26日(木) 青年委員会：全体会
 青年委員会：幹事会歓送迎会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 5月 7日(土) 大聖寺実業高校
 「生徒と保護者で学ぶ地元企業」参加
 11日(水) 協会・組合 定時総会
 16日(月) 建災防加賀分会 会計監査
 18日(水) 土木委員会 総会
 25日(水) 献血奉仕活動

《お知らせ》

- 6月 1日(水) 建災防加賀分会 役員会
 15日(水) 建災防加賀分会 総会

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 5月10日(火) 建青会役員会
 17日(火) 令和4年度 定時総会
 25日(水) 監理技術者講習

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 5月17日(火) 定時総会

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 5月11日(水) 役員会（総会提出議案審議）
 18日(水) 通常総会

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 5月24日(火) 定時総会
 中旬 部会役員会（土木・建築・青年）
 下旬 部会定時総会（土木・建築・青年）

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 5月10日(火) 監事会
 12日(木) 理事会
 20日(金) 通常総会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 5月 6日(金) 定時総会
 18日(水) 奥能登土木委員会
 監事会 役員会 通常総会

《お知らせ》

- 6月 8日(水) 監理技術者講習会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 5月18日(水) 奥能登土木委員会
 監事会 役員会 通常総会
 20日(金) 協会・組合 通常総会